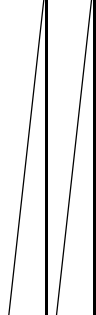


1. 新田大橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名		路線名		所在地		起点側		緯度		35° 26′ 37.00″		橋梁ID	
								経度		139° 57′ 16.00″		35.44361,139.95444	
新田大橋 (フリガナ)シンデンオオハシ		中袖南袖線		袖ヶ浦市南袖8地先									
管理者名		定期点検実施年月日		路下条件		代替路の有無		自専道or一般道		緊急輸送道路		占用物件(名称)	
袖ヶ浦市		2021.11.16		浮戸川		有		一般道				有(水道、ガス、NTT)	
部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)													
定期点検時に記録													
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)		変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)		備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)		応急措置後の 判定区分		応急措置内容		応急措置及び 判定実施年月日	
上部構造		Ⅰ		主桁									
		Ⅰ		横桁									
		Ⅰ		床版									
下部構造		Ⅱ		うき		写真1 柱部・壁部02							
支承部		Ⅱ		その他(植生)		写真2 支承本体209							
その他		Ⅲ		うき		写真4 地覆04							
道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)													
定期点検時に記録													
(判定区分)		(所見等)											
Ⅱ		橋脚にひびわれ、うき、鉄筋露出、地覆側面にひびわれ、遊離石灰、補修材の損傷、伸縮装置に欠損が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である。											
全景写真(起点側、終点側を記載すること)													
架設年次		橋長		橋幅									
1979年		67m		16.00m									
橋梁形式													
PC単純ボステンT桁橋、逆T式橋台2基、張出式橋脚1基													
		全景				起点側				正面			
		終点側										起点側より	

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
 ○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
 ○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

下部構造(柱部・壁部)【判定区分：Ⅱ】		支承部(支承本体)【判定区分：Ⅱ】	
写真1		写真2	
	柱部・壁部 Pw02(1径間) ひびわれ,うき その他(防護柵)【判定区分：Ⅱ】		支承本体 Bh209(1径間) その他(植生),土砂詰まり その他(地覆)【判定区分：Ⅲ】
写真3		写真4	
	防護柵 Gf04(1径間) ゆるみ・脱落		地覆 Fg04(2径間) 補修・補強材の損傷,うき

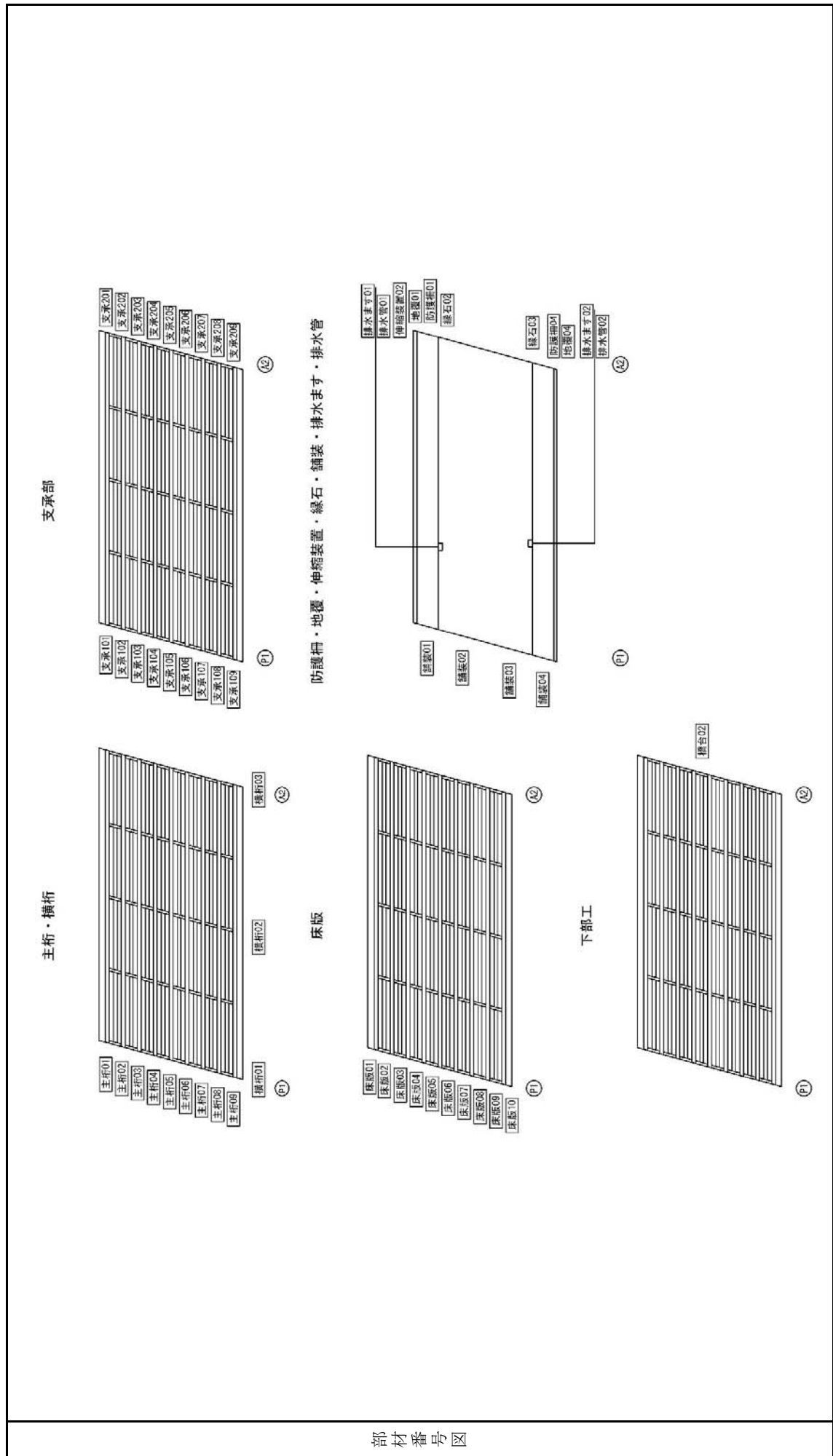
その他(伸縮装置)【判定区分：Ⅱ】		その他(舗装)【判定区分：Ⅱ】	
写真5		写真6	
	伸縮装置 Ej01(1径間) 変形・欠損 【判定区分：Ⅱ】		舗装 Pm04(1径間) 路面の凹凸 【判定区分：Ⅱ】
写真7			
	添架物 Ut01(2径間) ゆるみ・脱落 【判定区分：Ⅱ】		

付図-1 部材番号図		径間番号	1
橋梁名	シダ・オハシ 新田大橋	路線名	中袖南袖線
		所在地	袖ヶ浦市南袖8地先

主桁・横桁		支承部
		防護柵・地覆・伸縮装置・緑石・鋪装・排水ます・排水管
床版		
下部工		

部材番号図

2



2. 高須橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 26′ 34.00″	橋梁ID
高須橋 (フリガナ)タカスバシ	中袖南袖線	袖ヶ浦市奈良輪2554-28地先	起点側	経度	139° 57′ 43.00″	35.44278,139.96194
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ヶ浦市	2021.11.18	河川	有	一般道		有(ガス、不明)

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)						
定期点検時に記録				定期点検者		
定期点検時に記録				緊急措置後に記録		
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	緊急措置後の 判定区分	緊急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	Ⅰ	主桁				
		横桁				
		床版				
下部構造	Ⅰ					
支承部	Ⅰ					
その他	Ⅱ	脱落、欠損、舗装の異常	写真1～3 防護柵04,伸縮装置02,舗装02			
道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)						
定期点検時に記録						
(判定区分)		(所見等)				
Ⅰ		伸縮装置に欠損、舗装にひびわれおよびポットホールが見られるが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。				
全景写真(起点側、終点側を記載すること)						
架設年次	橋長	幅員				
1979年	59m	16.00m				
橋梁形式						
PC単純プレテンT桁橋、逆T式橋台2基、張出式橋脚2基						
全景						
終点側						
起点側						
正面						
起点側より						

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真1	防護柵 Gf04 (3径間) ゆるみ・脱落	写真2	伸縮装置 Ej02 (1径間) 変形・欠損
写真3	舗装 Pm02 (3径間) 舗装の異常		

付図-1 部材番号図		径間番号	1
橋梁名 カハナ 高須橋	路線名 中袖南袖線	所在地 袖ヶ浦市奈良輪2554-28地先	

主桁・横桁		支承部
主桁01 主桁02 主桁03 主桁04 主桁05 主桁06 主桁08 主桁09 主桁10 主桁12 主桁13 主桁14 主桁15 主桁16 主桁17 横桁01 横桁02 横桁03	支承001 支承002 支承003 支承004 支承005 支承006 支承007 支承008 支承009 支承010 支承011 支承012 支承013 支承014 支承015 支承016 支承017	支承001 支承002 支承003 支承004 支承005 支承006 支承007 支承008 支承009 支承010 支承011 支承012 支承013 支承014 支承015 支承016 支承017
床版		
床版01 床版02 床版03 床版04 床版05 床版06 床版07 床版08 床版09 床版10 床版11 床版12 床版13 床版14 床版15 床版16		
下部工		
橋台01 橋台02		

防護柵・地覆・伸縮装置・緑石・鋪装・排水ます・排水管

伸縮装置01 排水ます01 排水管01 伸縮装置02 地覆01 防護柵01 緑石02 緑石03 防護柵02 地覆04

付図-1 部材番号図		径間番号	2
橋梁名 カハナ 高須橋	路線名 中袖南袖線	所在地 袖ヶ浦市奈良輪2554-28地先	

主桁・横桁		支承部
主桁01 主桁02 主桁03 主桁04 主桁05 主桁06 主桁08 主桁09 主桁10 主桁12 主桁13 主桁14 主桁15 主桁16 主桁17 横桁01 横桁02 横桁03	支承001 支承002 支承003 支承004 支承005 支承006 支承007 支承008 支承009 支承010 支承011 支承012 支承013 支承014 支承015 支承016 支承017	支承018 支承019 支承020 支承021 支承022 支承023 支承024 支承025 支承026 支承027 支承028 支承029 支承030 支承031 支承032 支承033 支承034
床版		
床版01 床版02 床版03 床版04 床版05 床版06 床版07 床版08 床版09 床版10 床版11 床版12 床版13 床版14 床版15 床版16		
下部工		
橋脚01 橋脚02		

防護柵・地覆・伸縮装置・緑石・鋪装・排水ます・排水管

排水ます01 排水管01 伸縮装置02 地覆01 防護柵01 緑石02 舗装01 舗装02 舗装03 舗装04 緑石03 防護柵02 地覆04

付図-1 部材番号図		径間番号	3
橋梁名 カハナ 高須橋	路線名 中袖南袖線	所在地 袖ヶ浦市奈良輪2554-28地先	

主桁・横桁		支承部
主桁01 主桁02 主桁03 主桁04 主桁05 主桁06 主桁08 主桁09 主桁10 主桁11 主桁12 主桁13 主桁14 主桁15 主桁16 主桁17 横桁01 横桁02 横桁03	支承101 支承102 支承103 支承104 支承105 支承106 支承108 支承109 支承110 支承111 支承112 支承113 支承114 支承115 支承116 支承117 支承201 支承202 支承203 支承204 支承205 支承206 支承207 支承208 支承209 支承210 支承211 支承212 支承213 支承214 支承215 支承216 支承217	防護柵・地覆・伸縮装置・緑石・鋪装・排水ます・排水管 排水ます01 排水管01 伸縮装置02 排水01 防護柵01 緑石02 舗装01 舗装02 舗装03 舗装04 緑石03 防護柵04 排水04
床版		
床版01 床版02 床版03 床版04 床版05 床版06 床版07 床版08 床版09 床版10 床版11 床版12 床版13 床版14 床版15 床版16		
下部工		
橋台02		

部材番号図

3. 今井橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名		路線名	所在地		起点側		緯度	35° 26′ 34.00″	橋梁ID
					経度		139° 58′ 08.00″	35.44278,139.96889	
今井橋 (フリガナ)イマイバシ		中袖南袖線		袖ヶ浦市中袖31地先					
管理者名	定期点検実施年月日		路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)		
袖ヶ浦市	2021.11.20		境川	有	一般道		有(水道、ガス、下水道)		
部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)									
定期点検時に記録									
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日		
上部構造	主桁	Ⅰ							
	横桁	Ⅰ							
	床版	Ⅰ							
下部構造		Ⅰ							
支承部		Ⅰ							
その他		Ⅲ	鉄筋露出	写真2 地覆01					
道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)									
定期点検時に記録									
(判定区分)		(所見等)							
Ⅰ		地覆に著しい剥離、鉄筋露出、うき、補修材の損傷が見られるが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。							
全景写真(起点側、終点側を記載すること)									
架設年次	橋長	橋幅員							
1979年	59m	16.00m							
橋梁形式									
PC単純プレテンT桁橋、逆T式橋台2基、張出式橋脚2基									
			全景		起点側		正面		
									
			終点側		起点側より				

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

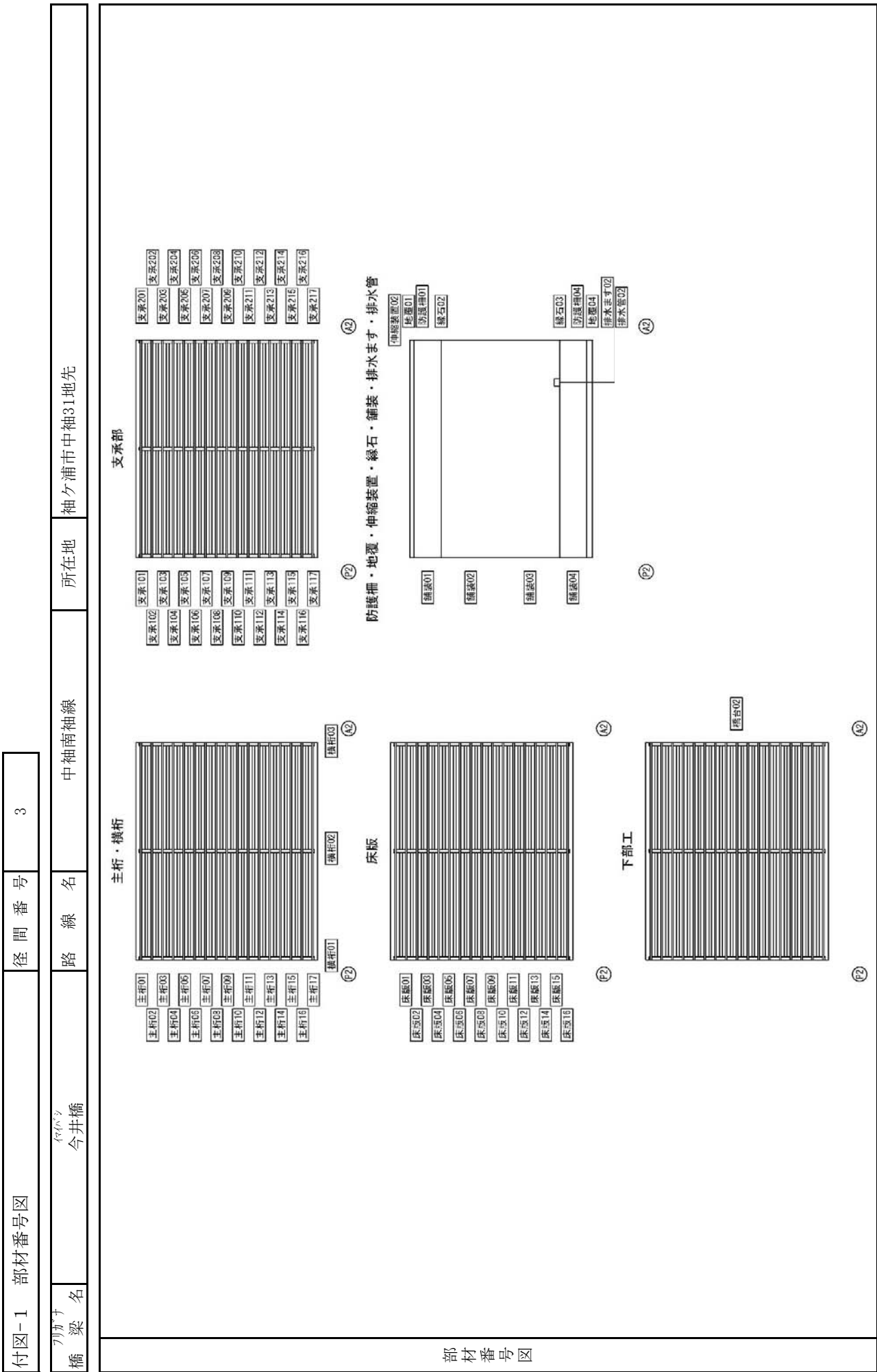
状況写真(損傷状況)
 ○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
 ○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

その他(防護柵)【判定区分：Ⅱ】		その他(地覆)【判定区分：Ⅲ】	
写真1	 防護柵 Gf01 (1径間) ゆるみ・脱落 その他(伸縮装置)【判定区分：Ⅱ】	写真2	 地覆 Fg01 (3径間) 剥離・鉄筋露出・補修・補強材の損傷 その他(舗装)【判定区分：Ⅱ】
写真3	 伸縮装置 Ej01 (1径間) 変形・欠損 舗装 Pm03 (3径間) 舗装の異常	写真4	

写真5	
	【判定区分：Ⅱ】
添架物 Ut01(3径間) 変形・欠損・漏水・滞水	【判定区分：Ⅱ】
	【判定区分：Ⅱ】

付図-1 部材番号図		径間番号	1
橋梁名 ツリガサ イマハシ 今井橋	路線名 中袖南袖線	所在地 袖ヶ浦市中袖31地先	
主桁・横桁 主桁01 主桁02 主桁03 主桁04 主桁05 主桁06 主桁07 主桁08 主桁09 主桁10 主桁11 主桁12 主桁13 主桁14 主桁15 主桁16 主桁17 横桁01 横桁02 横桁03 支承部 支承101 支承102 支承103 支承104 支承105 支承106 支承107 支承108 支承109 支承110 支承111 支承112 支承113 支承114 支承115 支承116 支承117 支承201 支承202 支承203 支承204 支承205 支承206 支承207 支承208 支承209 支承210 支承211 支承212 支承213 支承214 支承215 支承216 支承217 床版 床版01 床版02 床版03 床版04 床版05 床版06 床版07 床版08 床版09 床版10 床版11 床版12 床版13 床版14 床版15 床版16 下部工 橋台01 橋脚02 防護柵・地覆・伸縮装置・緑石・舗装・排水ます・排水管 伸縮装置01 伸縮装置02 地覆01 防風柵01 緑石02 舗装01 舗装02 舗装03 舗装04 緑石03 防護柵04 地覆04 排水ます02 排水管02			
部材番号図			

付図-1 部材番号図		径間番号	2
橋梁名 ツリガサ イマハシ 今井橋	路線名 中袖南袖線	所在地 袖ヶ浦市中袖31地先	
主桁・横桁 主桁01 主桁02 主桁03 主桁04 主桁05 主桁06 主桁07 主桁08 主桁09 主桁10 主桁11 主桁12 主桁13 主桁14 主桁15 主桁16 主桁17 横桁01 横桁02 横桁03 支承部 支承101 支承102 支承103 支承104 支承105 支承106 支承107 支承108 支承109 支承110 支承111 支承112 支承113 支承114 支承115 支承116 支承117 支承201 支承202 支承203 支承204 支承205 支承206 支承207 支承208 支承209 支承210 支承211 支承212 支承213 支承214 支承215 支承216 支承217 床版 床版01 床版02 床版03 床版04 床版05 床版06 床版07 床版08 床版09 床版10 床版11 床版12 床版13 床版14 床版15 床版16 防護柵・地覆・伸縮装置・緑石・舗装・排水ます・排水管 舗装01 舗装02 舗装03 舗装04 緑石01 緑石02 緑石03 緑石04 伸縮装置02 地覆01 防護柵01 排水ます02 排水管02 下部工 橋脚02			
部材番号図			



4. 新田橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 26′ 30.00″	橋梁ID
			経度	139° 57′ 12.00″	35.44167,139.95333	
新田橋 (フリガナ)シンデンバス	奈良輪高須新田線	袖ヶ浦市奈良輪1790地先				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ヶ浦市	2021.11.1	浮戸川	有	一般道		無

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)						
定期点検時に記録						
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	腐食	写真1、2 補剛桁01,縦桁02			
	横桁	腐食	写真3 横桁01			
	床版					
下部構造	Ⅰ					
支承部	Ⅲ	腐食	写真5 支承本体101			
その他	Ⅲ	腐食	写真4 下横構01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)	
定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅲ	支承部、下横構に板厚減少または孔食を伴う腐食が見られる。道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)		
架設年次	橋長	幅員
1979年	44m	5.00m
橋梁形式		
鋼単純鈹桁橋、その他(橋台)2基		

全景

終点側

起点側

正面

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

上部構造(補剛桁)【判定区分：Ⅱ】		上部構造(縦桁)【判定区分：Ⅱ】	
写真1		写真2	
補剛桁 Sa01 腐食、防食機能の劣化 上部構造(横桁)【判定区分：Ⅱ】		縦桁 St02 腐食、防食機能の劣化 上部構造(その他(下横構))【判定区分：Ⅲ】	
写真3		写真4	
横桁 Cr01 腐食、防食機能の劣化		下横構 LI01 腐食、防食機能の劣化	

支 承 部 (支 承 本 体) 【 判 定 区 分 : Ⅲ 】		そ の 他 (防 護 柵) 【 判 定 区 分 : Ⅱ 】	
写 真 5		支 承 本 体 Bh101 腐 食 防 食 機 能 の 劣 化	
		そ の 他 (伸 縮 装 置) 【 判 定 区 分 : Ⅱ 】	
写 真 7		伸 縮 装 置 Ej02 土 砂 詰 ま り	

写 真 6		防 護 柵 Gf02 ゆ る み ・ 脱 落	
		【 判 定 区 分 : Ⅱ 】	

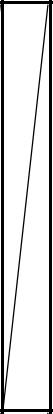
付図-1 部材番号図		径間番号	1
橋梁名	ツチノハナシ 新田橋	路線名	奈良輪高須新田線
		所在地	袖ヶ浦市奈良輪1790地先

補剛桁・縦桁・横桁・下横構		支承部	
床版		防護柵・地覆・伸縮装置・舗装・排水管・排水ます	
下部工			

部材番号図

5. 蔵波五反田一号橋

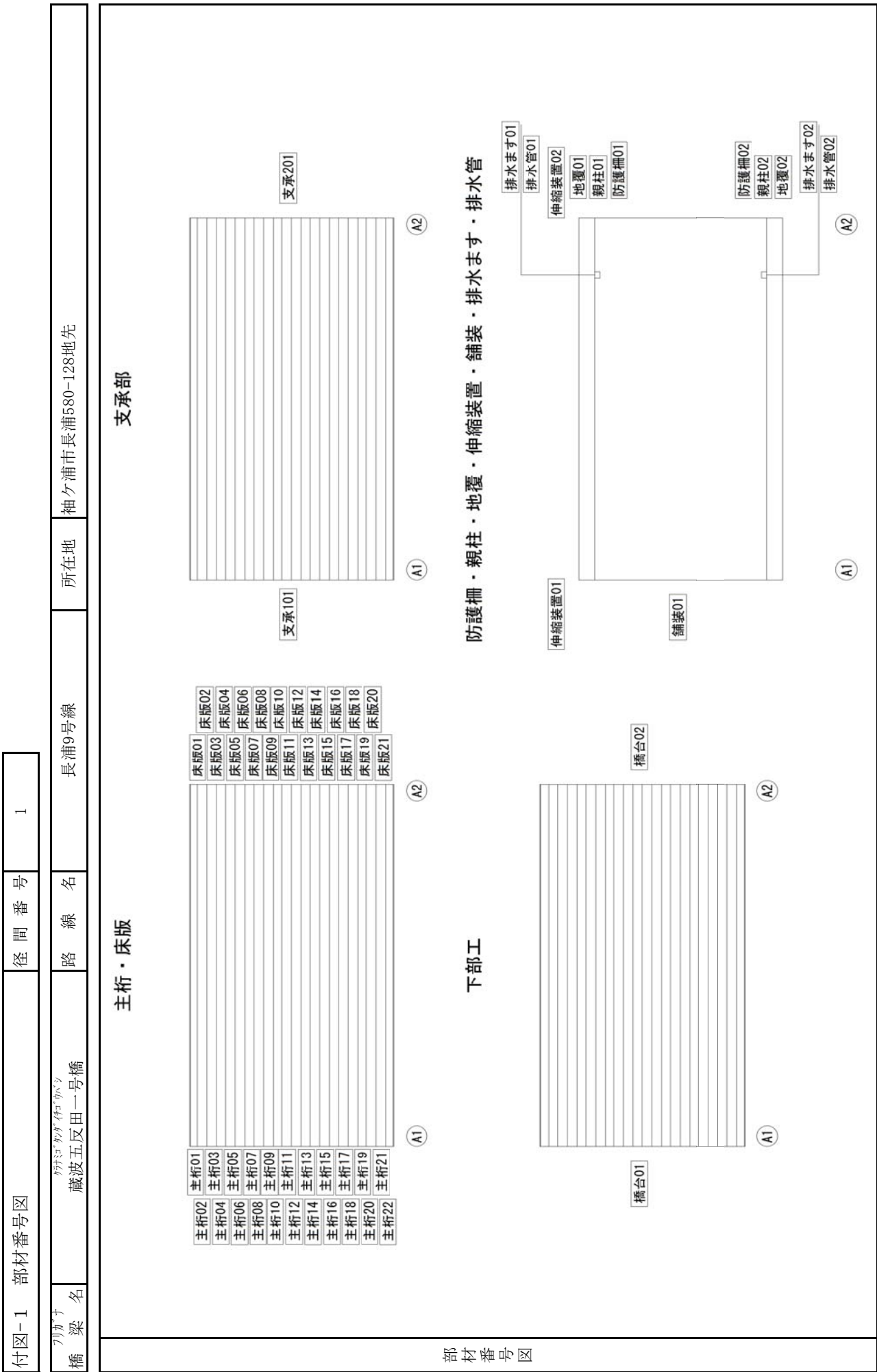
橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名		路線名	所在地		起点側		緯度 経度		35° 26′ 43.00″ 139° 59′ 01.00″		橋梁ID	
蔵波五反田一号橋 (フリガナ)クラナミゴタンダイチゴウバシ		長浦9号線	袖ヶ浦市長浦580-128地先								35.44528,139.98361	
管理者名		定期点検実施年月日	路下条件		代替路の有無		自専道or一般道		緊急輸送道路		占用物件(名称)	
袖ヶ浦市		2021.10.26	水路		有		一般道				無	
部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)												
定期点検時に記録												
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)		備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)		応急措置後の 判定区分		応急措置内容		応急措置及び 判定実施年月日	
上部構造		主桁	Ⅰ									
		横桁										
		床版										
下部構造		Ⅰ										
支承部		Ⅱ	土砂詰まり	写真1 支承本体101								
その他		Ⅱ	腐食、欠損	写真2～4 伸縮装置01:排水ます・排水管01								
道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)												
定期点検時に記録												
(判定区分)		(所見等)										
Ⅱ		支承部に土砂堆積、伸縮装置のゴム材に劣化、後打ち材にひびわれ、伸縮装置からの漏水、排水施設に欠損を伴う腐食が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である。										
全景写真(起点側、終点側を記載すること)												
架設年次		橋長	橋幅									
不明		13m	6.01m									
橋梁形式												
PC単純プレテン床版橋、その他(橋台)2基												
全景								起点側				
								終点側				
								起点側より				

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
 ○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
 ○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

支承部(支承本体)【判定区分：Ⅱ】		その他(伸縮装置)【判定区分：Ⅱ】	
写真1		写真2	
支承本体 Bh101 土砂詰まり		伸縮装置 Ej01 ひびわれ、変形・欠損	
写真3		写真4	
			
排水ます Dr01 腐食、防食機能の劣化、変形・欠損、土砂詰まり		排水管 Dp01 腐食、防食機能の劣化、変形・欠損	



6. 蔵波五反田二号橋

橋梁名・所在地・管理者名等

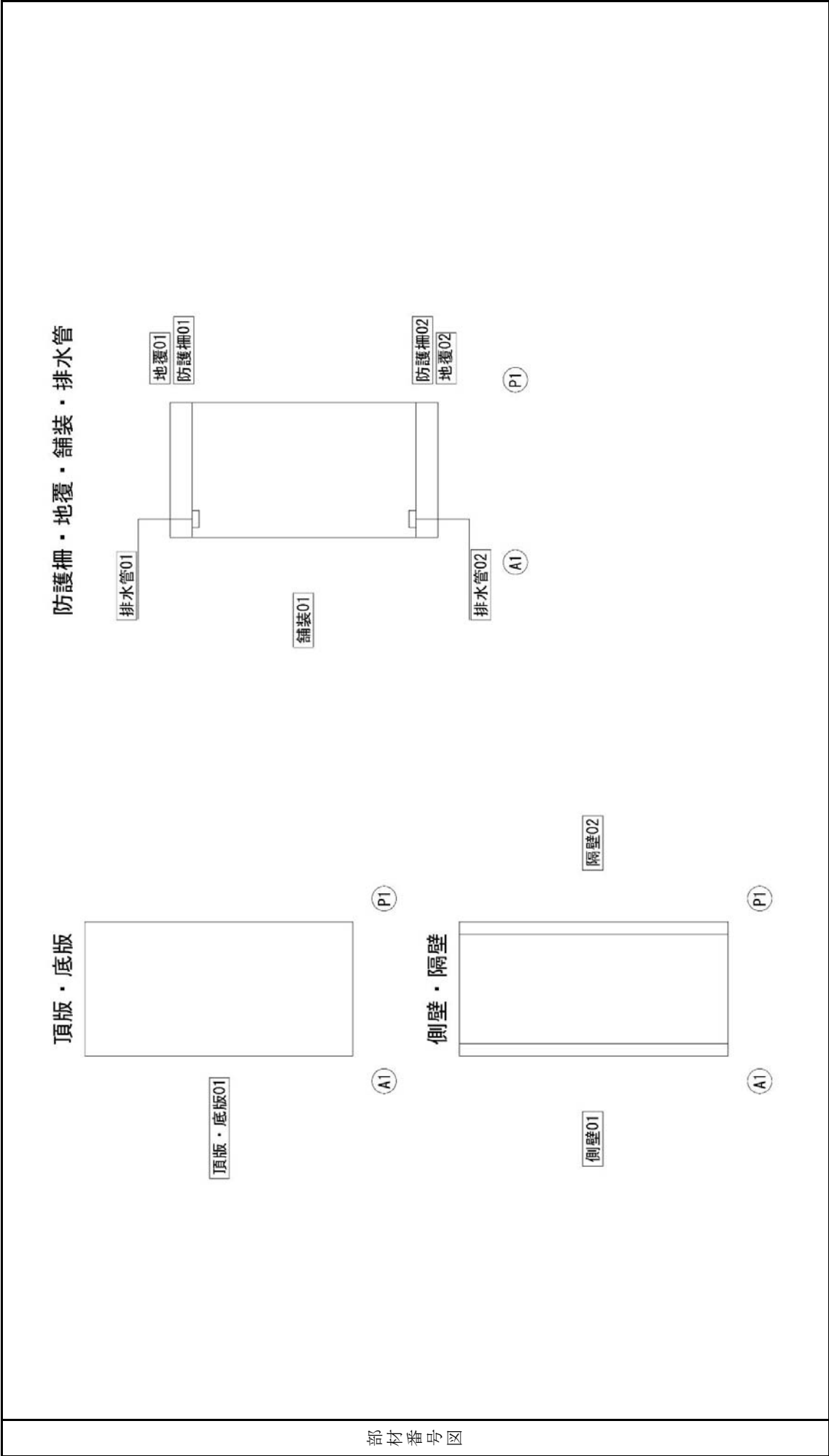
橋梁名		路線名		所在地		起点側		緯度		35° 26′ 46.00″		橋梁ID			
								経度		139° 59′ 08.00″		35.44611,139.98556			
蔵波五反田二号橋 (フリガナ)クラナミゴタンダニゴウバシ		長浦12号線		袖ヶ浦市蔵波2038地先											
管理者名		定期点検実施年月日		路下条件		代替路の有無		自専道or一般道		緊急輸送道路		占用物件(名称)			
袖ヶ浦市		2021.10.26		水路		有		一般道				無			
部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)															
定期点検時に記録															
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)		変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)		備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)		応急措置後の 判定区分		応急措置内容		応急措置及び 判定実施年月日			
溝橋(ボックスカルバート)本体		Ⅰ		頂版		写真1 隔壁01(第2径間)									
		Ⅱ		側壁											
		Ⅰ		底板											
翼壁		Ⅰ													
継手															
その他		Ⅱ		舗装の異常		写真2 舗装01									
道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)															
定期点検時に記録															
(判定区分)		(所見等)													
Ⅱ		隔壁に広範囲の鉄筋露出、舗装にひびわれが見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である。													
全景写真(起点側、終点側を記載すること)															
架設年次		橋長		橋幅											
不明		11m		6.00m											
橋梁形式															
2連BOXカルバート															
				全景				終点側				正面			
															
				起点側				終点側				起点側より			

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

写真1	写真2
	
隔壁【判定区分：Ⅱ】 隔壁 lw01(2径間) 剥離・鉄筋露出,うき	舗装 Pm01(1径間) 舗装の異常
【判定区分：Ⅱ】	【判定区分：Ⅱ】

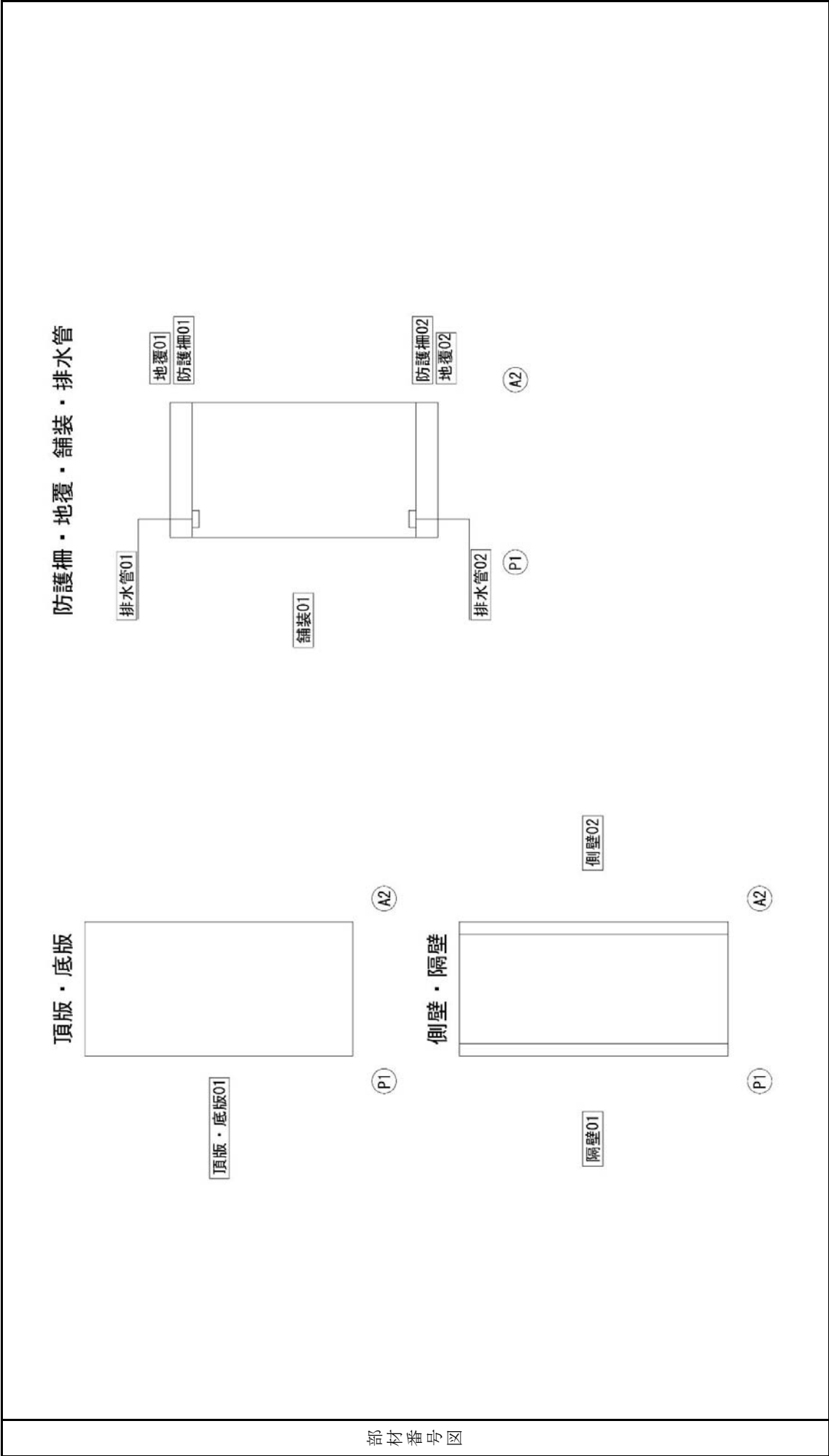
付図-1 部材番号図		径 間 番 号	1
------------	--	---------	---

ブリガナ 橋 梁 名	カサゴ カサゴ コハシ 蔵波五反田二号橋	路 線 名	長浦12号線	所在地	袖ヶ浦市蔵波2038地先
---------------	-------------------------	-------	--------	-----	--------------



付図-1 部材番号図		径間番号	2
------------	--	------	---

橋梁名	カサガサ 蔵波五反田二号橋	路線名	長浦12号線	所在地	袖ヶ浦市蔵波2038地先
-----	---------------	-----	--------	-----	--------------



7. 長浦拓二号橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名		路線名	所在地		起点側		緯度	35° 26′ 52.00″	橋梁ID
長浦拓二号橋 (フリガナ)ナガウラタクニゴウバシ		長浦11号線	袖ヶ浦市長浦580-146地先		経度		139° 59′ 22.00″	35.44778,139.98944	
管理者名		定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)		
袖ヶ浦市		2021.10.18	水路	有	一般道		無		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)									
定期点検時に記録									
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日		
上部構造	主桁	Ⅰ							
	横桁								
	床版	Ⅰ							
下部構造		Ⅰ							
支承部		Ⅱ	土砂詰まり	写真1 支承本体101					
その他		Ⅱ	腐食、欠損	写真2～4 伸縮装置02:排水ます・排水管02					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)									
定期点検時に記録									
(判定区分)		(所見等)							
Ⅱ		伸縮装置にゴム材の劣化、漏水、後打ち材の欠損、排水ますおよび排水管に欠損を伴う腐食が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である。							

全景写真(起点側、終点側を記載すること)			
架設年次	橋長	橋幅	幅員
不明	13m	6.52m	
橋梁形式			
PC単純プレテン床版橋、その他(橋台)2基			

全景

終点側

正面

起点側より

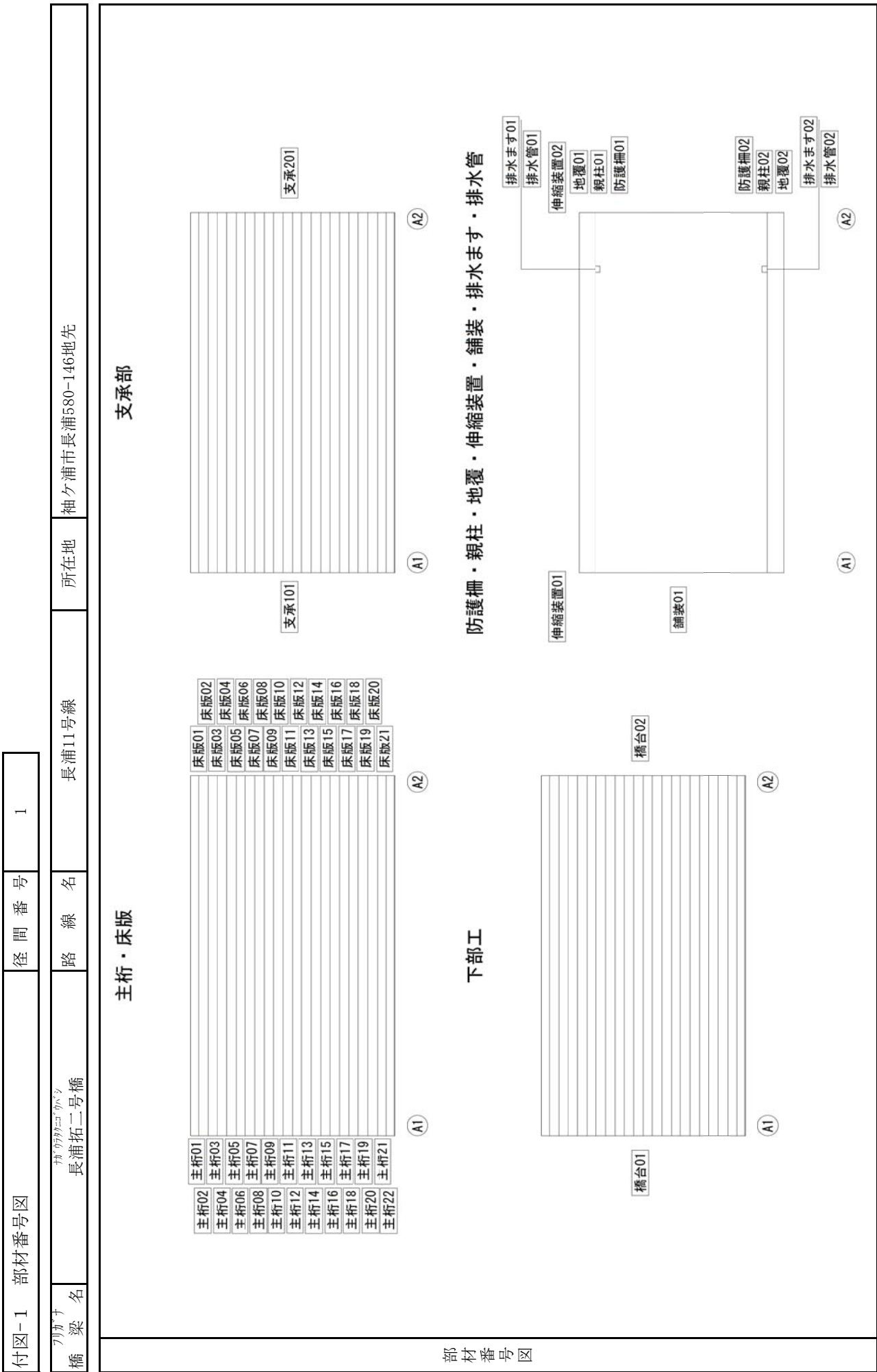
※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

支承部(支承本体)【判定区分：Ⅱ】		その他(伸縮装置)【判定区分：Ⅱ】	
写真1		写真2	
支承本体 Bh101 土砂詰まり		伸縮装置 E102 変形・欠損	
その他(排水ます)【判定区分：Ⅱ】		その他(排水管)【判定区分：Ⅱ】	
写真3		写真4	
排水ます Dr02 腐食、防食機能の劣化、変形・欠損		排水管 Dp02 腐食、防食機能の劣化、変形・欠損	



8. 蔵波橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名		路線名	所在地	起点側	緯度	35° 27′ 00.00″	橋梁ID
蔵波橋		蔵波9号線	袖ヶ浦市蔵波1973-3地先		経度	139° 59′ 32.00″	35.45.139.99222
(フリガナ)クラナミバシ							
管理者名		定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ヶ浦市		2021.10.18	蔵波川	有	一般道		有(不明)

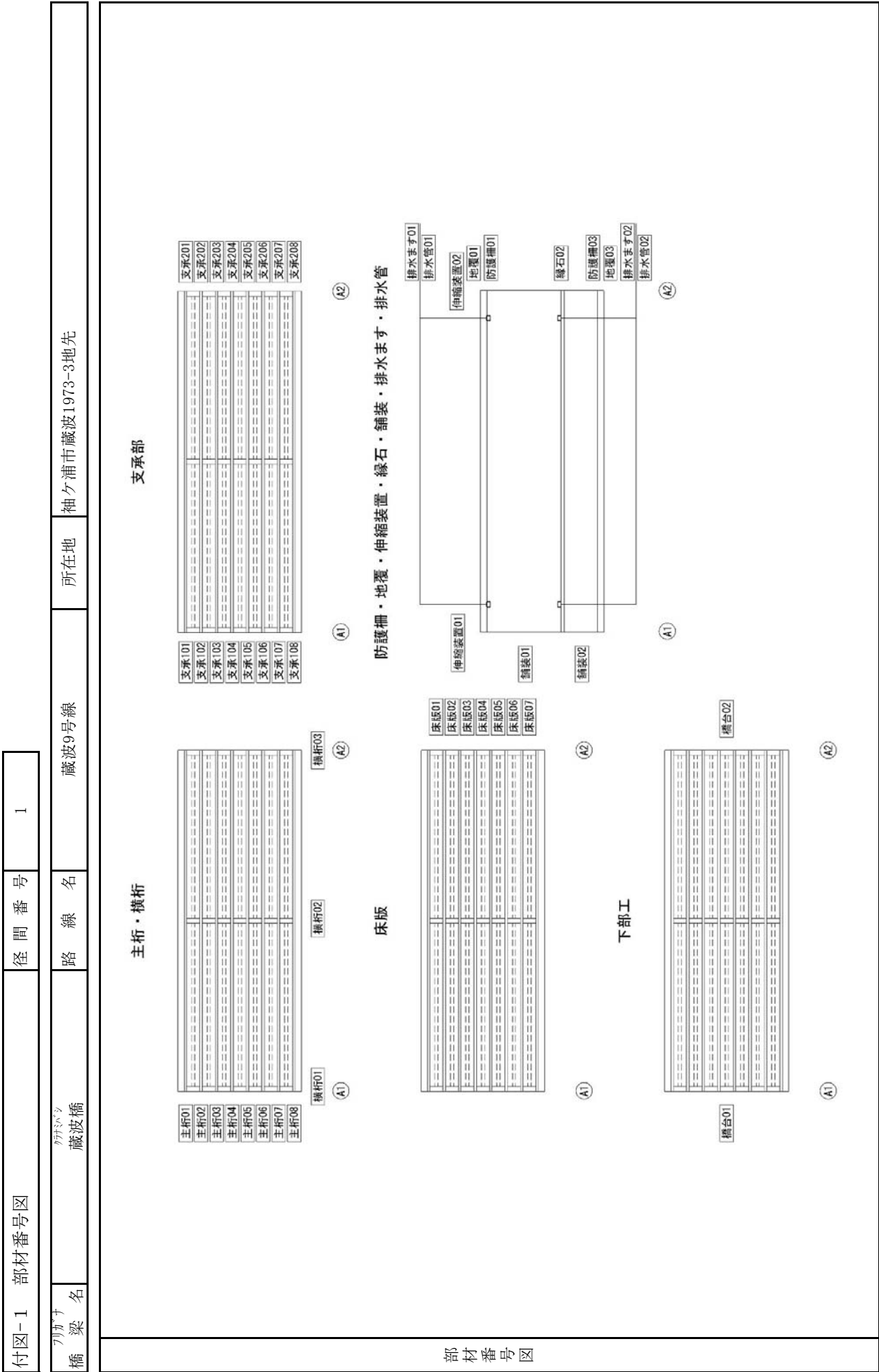
部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)						
定期点検時に記録				定期点検者		
部材名				応急措置後に記録		
判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)		変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁					
	横桁	鉄筋露出	写真1 横桁02			
	床版	鉄筋露出	写真2 床版07			
下部構造						
支承部						
その他		脱落、欠損	写真3～6 防護柵03.伸縮装置02, 排水ます01.排水管02			
道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)						
定期点検時に記録						
(判定区分)		(所見等)				
Ⅱ		横桁および床版に鉄筋露出、伸縮装置にゴム材の劣化、漏水、排水施設に欠損を伴う腐食が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である。				
全景写真(起点側、終点側を記載すること)						
架設年次	橋長	幅員				
不明	20m	6.70m				
橋梁形式						
PC単純プレテンT桁橋、その他(橋台)2基						
全景						
終点側						
起点側						
正面						
起点側より						

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
 ○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
 ○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(横桁)【判定区分：Ⅱ】		上部構造(床版)【判定区分：Ⅱ】	
写真1		写真2	
横桁 Cr02 剥離・鉄筋露出		床版 Ds07 剥離・鉄筋露出	
写真3		写真4	
			
その他(防護柵)【判定区分：Ⅱ】		その他(伸縮装置)【判定区分：Ⅱ】	
防護柵 Gf03 ゆるみ・脱落		伸縮装置 Ej02 漏水・滞水・変形・欠損・土砂詰まり	

【判定区分：Ⅱ】		【判定区分：Ⅱ】	
写真5		排水ます Dr01 腐食、防食機能の劣化、変形・欠損	【判定区分：Ⅱ】
写真6		排水管 Dr02 腐食、防食機能の劣化、変形・欠損	【判定区分：Ⅱ】



9. 蔵波宿畑橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名		路線名	所在地	起点側	緯度	35° 27′ 05.00″	橋梁ID
蔵波宿畑橋 (フリガナ)クラナミヤドハタバシ		長浦駅北口線	袖ヶ浦市大字蔵波字宿畑		経度	139° 59′ 44.00″	35.45139,139.99556
管理者名		定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ヶ浦市		2021.10.20	水路	有	一般道		有(不明)
部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)							
定期点検時に記録							
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁	Ⅱ	鉄筋露出、定着部の異常	写真1 横桁01			
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅱ	欠損	写真2、3 伸縮装置01,排水管02			
道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)							
定期点検時に記録							
(判定区分)		(所見等)					
Ⅱ		横桁(PC定着部)に鉄筋露出、伸縮装置にゴム材の欠損、排水管に取付金具の腐食、塩ビ管の脱落が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である。					
全景写真(起点側、終点側を記載すること)							
架設年次	不明	橋長	10m	幅員	27.99m		
橋梁形式							
PC単純プレテンT桁橋、その他(橋台)2基							
全景				終点側			
起点側				正面			
起点側				起点側より			

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
 ○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
 ○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(横桁)【判定区分：Ⅱ】		その他(伸縮装置)【判定区分：Ⅱ】	
写真1		写真2	
	横桁・PC定着部 Cr01・Cn13 剥離・鉄筋露出,定着部の異常 その他(排水管)【判定区分：Ⅱ】		伸縮装置 E01 漏水・滞水,変形・欠損 【判定区分：Ⅱ】
写真3			
排水管 Dp02 腐食,防食機能の劣化,変形・欠損			

付図-1 部材番号図

径間番号 1

橋梁名	路線名	所在地	袖ヶ浦市長浦1-80地先
フナガサ 蔵波宿畑橋			
主桁・横桁 床版 支承部 下部工			

部材番号図

10. 長浦拓一 号橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名		路線名	所在地	起点側	緯度	35° 27′ 06.00″	橋梁ID
長浦拓一号橋 (フリガナ)ナガウラタクイチゴウバンシ		長浦14号線	袖ヶ浦市長浦1-62地先		経度	139° 59′ 48.00″	35.45167,139.99667
管理者名		定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ヶ浦市		2021.10.19	水路	有	一般道		有(不明)

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)							
定期点検時に記録							
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	鉄筋露出	写真1 主桁03			
	横桁						
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅱ	変形、欠損、土砂詰まり	写真2～4 伸縮装置01,排水ます01,排水管02			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)	
定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	主桁に鉄筋露出、伸縮装置にゴムの変形、排水管に欠損を伴う腐食が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)		
架設年次	橋長	幅員
不明	9m	5.99m
橋梁形式		
PC単純プレテン床版橋、その他(橋台)2基		

全景

終点側

正面

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

上部構造(主桁)【判定区分：Ⅱ】		その他(伸縮装置)【判定区分：Ⅱ】	
写真1		写真2	
主桁 Mg03 剥離・鉄筋露出		伸縮装置 Ej01 変色・劣化、変形・欠損、土砂詰まり	
その他(排水ます)【判定区分：Ⅱ】		その他(排水管)【判定区分：Ⅱ】	
写真3		写真4	
排水ます Dr01 土砂詰まり		排水管 Dp02 腐食、防食機能の劣化、変形・欠損	

付図-1 部材番号図		径間番号	1
橋梁名	カガサ 長浦拓一橋	路線名	長浦14号線
		所在地	袖ヶ浦市長浦1-62地先

主桁・床版		支承部	
主桁01 主桁02 主桁03 主桁04 主桁05 主桁06 主桁07 主桁08 主桁09 主桁10 主桁11 主桁12 主桁13 主桁14 主桁15 主桁16 主桁17 主桁18 主桁19 主桁20 主桁21 床版01 床版02 床版03 床版04 床版05 床版06 床版07 床版08 床版09 床版10 床版11 床版12 床版13 床版14 床版15 床版16 床版17 床版18 床版19 床版20		支承101 支承201	

下部工		防護柵・地覆・伸縮装置・舗装・排水ます・排水管	
橋台01 橋台02		伸縮装置01 伸縮装置02 地覆01 防護柵01 排水ます01 排水管01 舗装01 地覆02 防護柵02 排水ます02 排水管02	

部材番号図

11. 北袖橋

橋梁名		路線名		所在地		起点側		緯度		橋梁ID	
橋梁ID		緯度		経度		35° 27' 22.00"		35.45611, 140.00361			
北袖橋 (フリガナ)キタソデバシ		北袖ふ頭線		袖ヶ浦市久保田2429地先							
管理者名		定期点検実施年月日		路下条件		代替路の有無		自専道or一般道		緊急輸送道路	
袖ヶ浦市		2021.11.4		河川		有		一般道		有(不明)	
定期点検時に記録											
部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)											
定期点検時に記録											
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)		変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)		備考(写真番号、位置等が分かるように記載)		応急措置後の判定区分		応急措置内容	
上部構造		主桁		Ⅰ						応急措置及び判定実施年月日	
		横桁		Ⅰ							
		床版		Ⅰ							
下部構造		Ⅰ									
支承部		Ⅰ									
その他		Ⅱ		腐食、脱落		写真1、2 防護柵01,添架物01					
道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)											
定期点検時に記録											
(判定区分)(所見等)											
Ⅰ		添架物に断面欠損を伴う腐食が見られるが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。									
全景写真(起点側、終点側を記載すること)											
架設年次		橋長		幅員							
不明		20m		19.40m							
橋梁形式											
PC単純ボスステンT桁橋、その他(橋台)2基											
全景				起点側				正面			
											
終点側				起点側より							

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

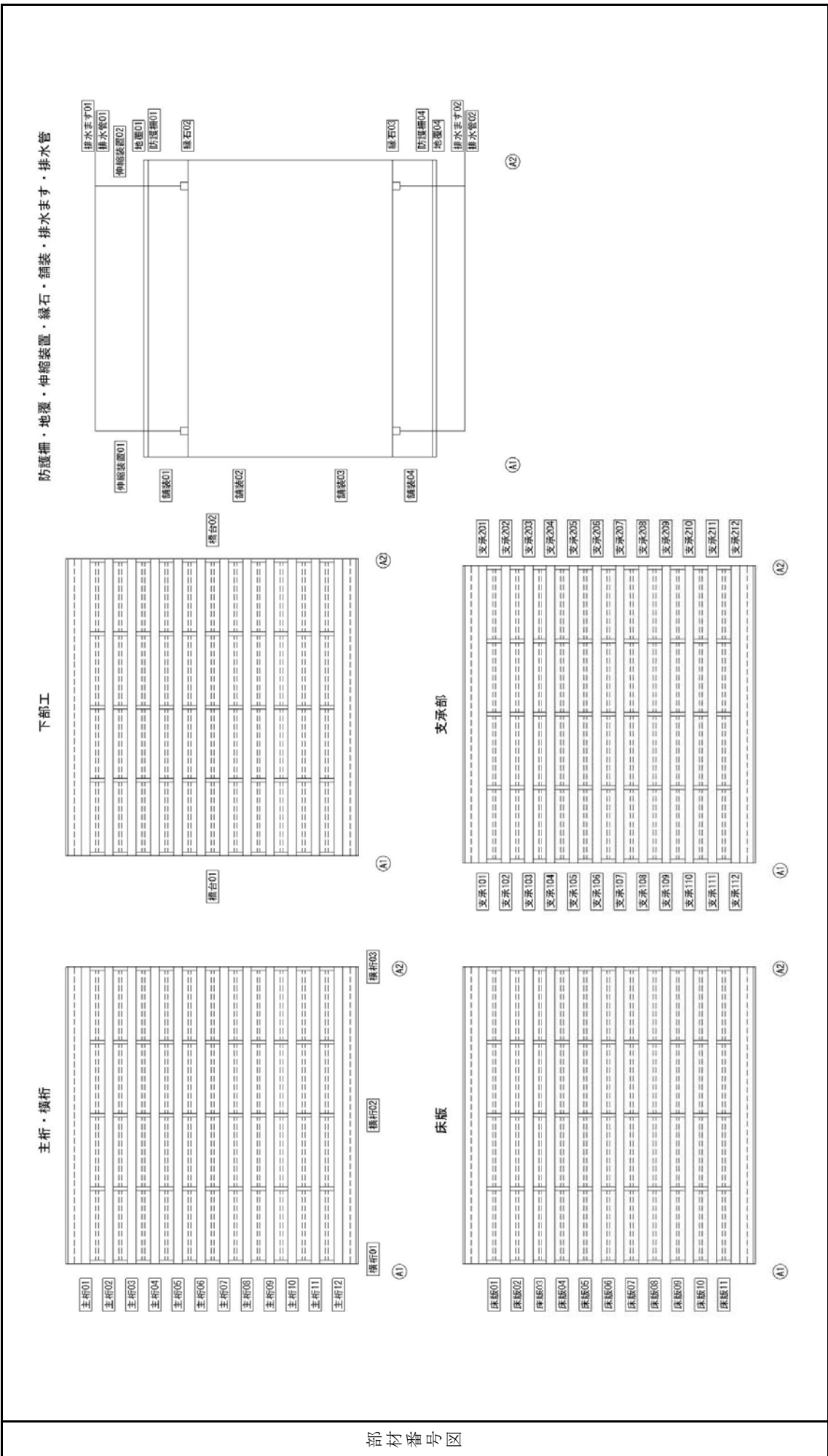
状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

その他(防護柵)【判定区分：Ⅱ】		その他(添架物)【判定区分：Ⅱ】	
写真1	 防護柵 Gf01 腐食,ゆるみ・脱落,防食機能の劣化 【判定区分：Ⅱ】	写真2	 添架物 Ut01 腐食,防食機能の劣化,変形・欠損 【判定区分：Ⅱ】

付図-1 部材番号図		径間番号	1
橋梁名	カサハシ 北袖橋	路線名	北袖ふ頭線
		所在地	袖ヶ浦市久保田2429地先



12. 久保田行基谷橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名		路線名		所在地		起点側		緯度		35° 27′ 43.00″		橋梁ID	
								経度		140° 01′ 08.00″		35.46194,140.01889	
久保田行基谷橋 (フリガナ)クボタギョウギヤバシ		久保田1号線		袖ヶ浦市久保田3364									
管理者名		定期点検実施年月日		路下条件		代替路の有無		自専道or一般道		緊急輸送道路		占用物件(名称)	
袖ヶ浦市		2021.10.18		笠上川		有		一般道				無	
部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)													
定期点検時に記録													
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)		変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)		備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)		応急措置後の 判定区分		応急措置内容		応急措置及び 判定実施年月日	
溝橋(ボックスカルバート)本体		Ⅲ		鉄筋露出		写真1 頂版12							
		Ⅱ		鉄筋露出		写真2 側壁01							
		Ⅰ											
翼壁													
継手		Ⅰ											
その他		Ⅰ											
道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)													
定期点検時に記録													
(判定区分)		(所見等)											
Ⅲ		頂版に著しい鉄筋露出が見られる。道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態である。											
全景写真(起点側、終点側を記載すること)													
架設年次		橋長		幅員									
不明		4m		11.52m									
橋梁形式													
2連BOXカルバート													
全景						終点側						正面	
													
起点側						終点側						起点側より	

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

頂版【判定区分：Ⅲ】		側壁【判定区分：Ⅱ】	
写真1		写真2	
頂版 Ct12(2径間) 剥離・鉄筋露出 【判定区分：Ⅲ】		側壁 Sw01(1径間) 剥離・鉄筋露出 【判定区分：Ⅱ】	

付図-1 部材番号図		径間番号	1
橋梁名	久保田行基谷橋 久保田 行基 谷 橋	路線名	久保田1号線
		所在地	袖ヶ浦市久保田3364

部材番号図		頂版・底版	側壁・隔壁	防護柵・地覆・舗装
		頂版01・底版01 頂版02・底版02 頂版03・底版03 頂版04・底版04 頂版05・底版05 頂版06・底版06 頂版07・底版07 頂版08・底版08 頂版09・底版09 頂版10・底版10 頂版11・底版11	側壁0101 側壁0102 側壁0103 側壁0104 側壁0105 側壁0106 側壁0107 側壁0108 側壁0109 側壁0110 側壁0111 隔壁0201 隔壁0202 隔壁0203 隔壁0204 隔壁0205 隔壁0206 隔壁0207 隔壁0208 隔壁0209 隔壁0210 隔壁0211	防護柵01 地覆01 舗装01 地覆02 防護柵02

13. 汐汲橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名		路線名	所在地	起点側		緯度	35° 27' 43.00"	橋梁ID
汐汲橋		久保田1号線	袖ヶ浦市代宿52-5地先			経度	140° 01' 11.00"	35.46194,140.01972
(フリガナ)シオクミバシ								
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)		
袖ヶ浦市	2021.10.18	笠上川	有	一般道		無		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検時に記録		応急措置後に記録		定期点検者		開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎		
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日		
上部構造	Ⅰ	主桁						
		横桁						
		床版						
下部構造	Ⅰ							
支承部	Ⅰ							
その他	Ⅱ	その他(目地材の脱落)	写真1 伸縮装置03					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅰ	伸縮装置に目地材の劣化、継目地に欠損および目地材の脱落が見られるが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1971年	8m	5.62m
橋梁形式		
RC単純床版橋・PC単純プレテン床版橋、その他(橋台)2基		

全景

終点側

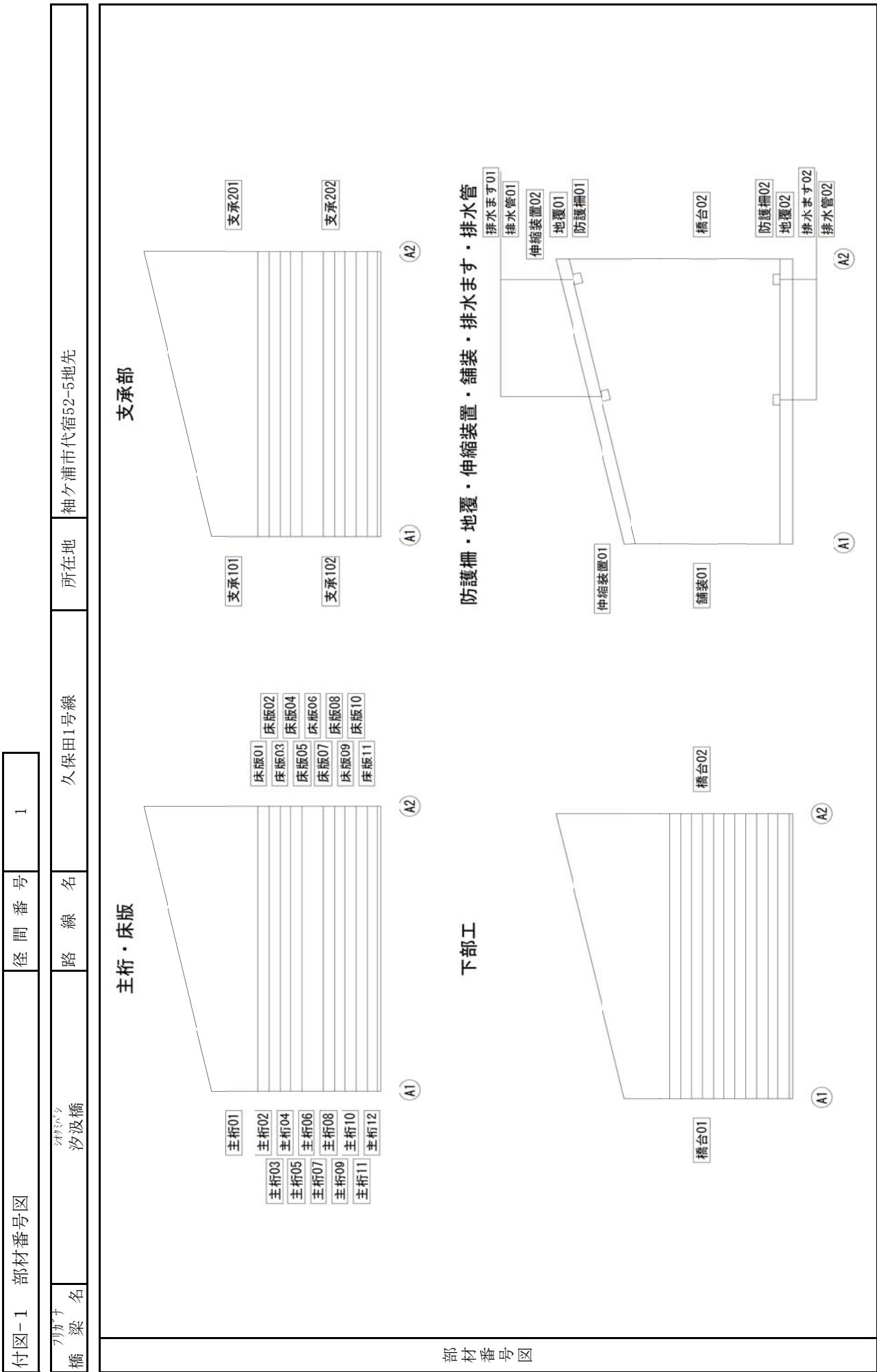
起点側

正面

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

写真1		【判定区分：Ⅱ】
伸縮装置 E:03 その他(目地材の脱落)変形・欠損		【判定区分：Ⅱ】



14. 代宿箕輪橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名		路線名	所在地	起点側	緯度	35° 27' 26.00"	橋梁ID
代宿箕輪橋 (フリガナ)ダイジユクミノワシ		久保田6号線	袖ヶ浦市久保田2687-3		経度	140° 00' 46.00"	35.45722,140.01278
管理者名		定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ヶ浦市		2021.10.19	浜宿川	有	一般道		無

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)						
定期点検時に記録				定期点検者		
部材名				応急措置後に記録		
判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)		変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かるように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	Ⅰ	主桁				
		横桁				
		床版				
下部構造						
Ⅰ						
支承部						
Ⅰ						
その他						
Ⅰ						
道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)						
定期点検時に記録						
(判定区分)		(所見等)				
Ⅰ		道路橋の機能に支障が生じていない状態である。				
全景写真(起点側、終点側を記載すること)						
架設年次	幅員	橋長				
不明	8m	7.55m				
橋梁形式						
RC単純π桁橋、その他(橋台)2基						
			全景	起点側		
						
			終点側	起点側より		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2 様式1 様式2
状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

【判定区分：】	
【判定区分：】	

付図-1 部材番号図		径間番号	1
ブリガナ 橋梁名	グンズミカベシ 代宿箕輪橋	路線名	久保田6号線
		所在地	袖ヶ浦市久保田2687-3

主桁・床版		支承部
下部工		防護柵・地覆・舗装

部材番号図

15. 蔵波台七丁目二号橋

橋梁名・所在地・管理者名等

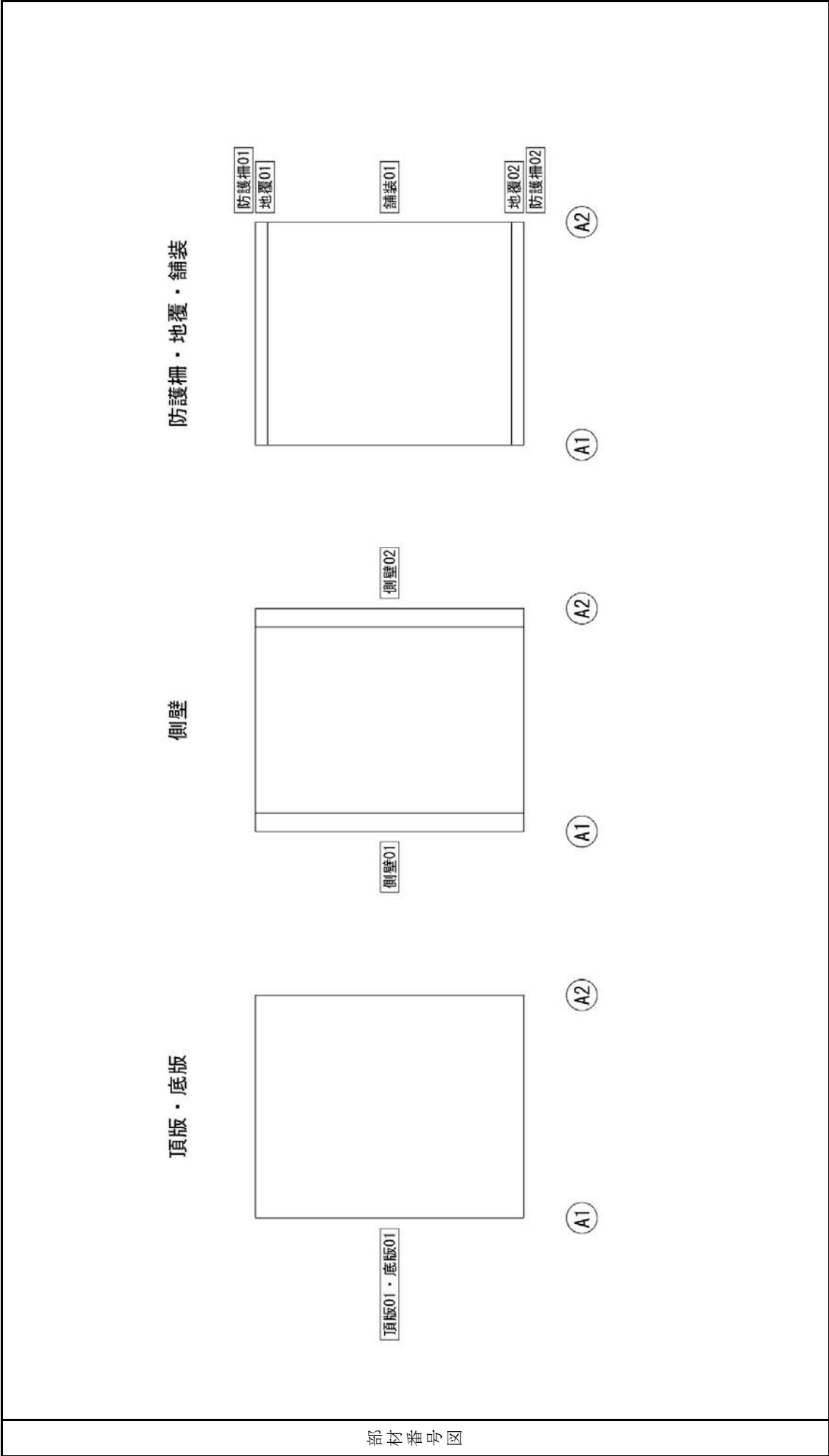
橋梁名		路線名		所在地		起点側		緯度		35° 26′ 22.00″		橋梁ID			
								経度		140° 00′ 20.00″		35.43944,140.00556			
蔵波台七丁目二号橋 (フリガナ)クラナミダイナナチウメゴウキョウ		蔵波台七丁目13号線		袖ヶ浦市蔵波台7-27-2											
管理者名		定期点検実施年月日		路下条件		代替路の有無		自専道or一般道		緊急輸送道路		占用物件(名称)			
袖ヶ浦市		2021.10.20		蔵波川		有		一般道				無			
部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)															
定期点検時に記録															
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)		変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)		備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)		応急措置後の 判定区分		応急措置内容		応急措置及び 判定実施年月日			
溝橋(ボックスカルバート)本体		Ⅰ													
		Ⅰ													
		Ⅰ													
翼壁		Ⅰ													
継手															
その他		Ⅱ		その他(植生)		写真1 護岸									
道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)															
定期点検時に記録															
(判定区分)		(所見等)													
Ⅰ		護岸に植生が見られるが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。													
全景写真(起点側、終点側を記載すること)															
架設年次		橋長		橋幅											
不明		5m		6.00m											
橋梁形式															
BOXカルバート															
全景												終点側			
												正面		起点側より	

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

写真1	その他(護岸)【判定区分：Ⅱ】 	【判定区分：】
	護岸 その他(植生) 【判定区分：】	【判定区分：】

付図-1 部材番号図		径間番号	1
------------	--	------	---

橋梁名	蔵波台七丁目二号橋	路線名	蔵波台七丁目13号線	所在地	袖ヶ浦市蔵波台7-27-2
-----	-----------	-----	------------	-----	---------------



16. 奈良輪車所橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名		路線名	所在地	起点側		緯度	35° 26′ 19.00″	橋梁ID
奈良輪車所橋 (フリガナ)ナラワシヤドコロバシ		今井坂戸線	袖ヶ浦市今井3-24地先	経度		139° 58′ 10.00″	35.43861,139.96944	
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)		
袖ヶ浦市	2021.10.20	境川	有	一般道		有(水道)		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)						定期点検者		開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎
定期点検時に記録						応急措置後に記録		
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日		
上部構造	主桁							
	横桁							
	床版							
下部構造	Ⅰ							
支承部	Ⅰ							
その他	Ⅱ	脱落、舗装の異常	写真1、2 防護柵01,舗装02					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)	
定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅰ	防護柵に取付ボルトの脱落、舗装(取付道路部)にポットホール、ひびわれが見られるが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)		
架設年次	橋長	幅員
不明	6m	10.50m
橋梁形式		
PC単純プレテン床版橋、その他(橋台)2基		

全景

終点側

起点側

正面

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

写真1		その他(防護柵)【判定区分：Ⅱ】
写真2		その他(舗装)【判定区分：Ⅱ】
		舗装 Pm02 舗装の異常
		【判定区分：】

付図-1 部材番号図		径間 番号		1	
橋 梁 名		奈良輪車所橋		779241000	

17. 奈良輪宮田橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	35° 26′ 15.00″ 139° 58′ 11.00″	橋梁ID
奈良輪宮田橋 (フリガナ)ナラワミヤタハシ	奈良輪11号線	袖ヶ浦市奈良輪367-1地先				35.4375,139.96972
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ヶ浦市	2021.10.20	境川	有	一般道		無

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検時に記録		応急措置後に記録				
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	Ⅰ	主桁				
		横桁				
		床版				
下部構造	Ⅰ					
支承部	Ⅰ					
その他	Ⅱ	路面の凹凸、劣化	写真1、2 伸縮装置01,舗装01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅰ	伸縮装置および舗装に段差が見られるが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
	8m	2.05m
橋梁形式		
PC単純床版橋、その他(橋台)2基		

全景



正面



全景



起点側

終点側

正面



起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

○○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
○○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

その他(伸縮装置)【判定区分: II】		その他(舗装)【判定区分: II】	
写真1		写真2	
伸縮装置 E101 路面の凹凸,変色・劣化 【判定区分:】		舗装 Pm01 路面の凹凸 【判定区分:】	

付図-1 部材番号図		径間番号	1
フリガナ 橋梁名	ナガノミヤハシ 奈良輪宮田橋	路線名	奈良輪11号線
		所在地	袖ヶ浦市奈良輪367-1地先

主桁・床版		支承部	
下部工		高欄・地覆・伸縮装置・舗装	

部材番号図

18. 大袖橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	経度	橋梁ID
大袖橋 (フリガナ)オオソデハシ	今井坂戸線	袖ヶ浦市坂戸市場238地先		35° 25′ 47.00″	139° 56′ 44.00″	35.42972,139.94556
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ヶ浦市	2021.11.4	浮戸川	有	一般道		有(ガス、NTT)

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)						
定期点検時に記録						
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	Ⅰ	主桁				
		横桁				
		床版				
下部構造	Ⅰ					
支承部	Ⅰ					
その他	Ⅱ	欠損	写真1、2 防護柵04,排水管02			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)	
定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅰ	防護柵に縦棧の欠損、排水管に断面欠損を伴う腐食および脱落、漏水が見られるが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)			
架設年次	橋長	幅員	
1980年	35m	14.00m	
橋梁形式			
PC単純プレテン中空床版橋、その他(橋台2基、張出式橋脚)基			

全景	
正面	

正面



終点側



全景

起点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

付図-1 部材番号図		径間番号	1
橋梁名	材料デハシ 大袖橋	路線名	今井坂戸線
		所在地	袖ヶ浦市坂戸市場238地先
主桁・横桁 主桁01 主桁02 主桁03 主桁04 主桁05 主桁06 主桁07 主桁08 主桁09 主桁10 主桁11 主桁12 主桁13 主桁14 主桁15 主桁16 主桁17 主桁18 横桁01 横桁02 横桁03 床版 床版01 床版02 床版03 床版04 床版05 床版06 床版07 床版08 床版09 床版10 床版11 床版12 床版13 床版14 床版15 床版16 床版17 床版18 下部工 橋台01 橋脚02 支承部 支承01 支承201 防護柵・地覆・伸縮装置・緑石・舗装・排水ます・排水管 伸縮装置01 伸縮装置02 地覆01 防風柵01 緑石02 舗装01 舗装02 舗装03 舗装04 緑石03 防風柵04 地覆04 排水ます02 排水管02			
部材番号図			

付図-1 部材番号図		径間番号	2
橋梁名 ツリガサ 材料デハシ 大袖橋	路線名 今井坂戸線	所在地 袖ヶ浦市坂戸市場238地先	

主桁・横桁		主桁・横桁	主桁・横桁
主桁01 主桁02 主桁03 主桁04 主桁05 主桁06 主桁07 主桁08 主桁09 主桁10 主桁11 主桁12 主桁13 主桁14 主桁15 主桁16 主桁17 主桁18	主桁01 主桁02 主桁03 主桁04 主桁05 主桁06 主桁07 主桁08 主桁09 主桁10 主桁11 主桁12 主桁13 主桁14 主桁15 主桁16 主桁17 主桁18	主桁01 主桁02 主桁03 主桁04 主桁05 主桁06 主桁07 主桁08 主桁09 主桁10 主桁11 主桁12 主桁13 主桁14 主桁15 主桁16 主桁17 主桁18	主桁01 主桁02 主桁03 主桁04 主桁05 主桁06 主桁07 主桁08 主桁09 主桁10 主桁11 主桁12 主桁13 主桁14 主桁15 主桁16 主桁17 主桁18

床版		床版	床版
床版01 床版02 床版03 床版04 床版05 床版06 床版07 床版08 床版09 床版10 床版11 床版12 床版13 床版14 床版15 床版16 床版17 床版18	床版01 床版02 床版03 床版04 床版05 床版06 床版07 床版08 床版09 床版10 床版11 床版12 床版13 床版14 床版15 床版16 床版17 床版18	床版01 床版02 床版03 床版04 床版05 床版06 床版07 床版08 床版09 床版10 床版11 床版12 床版13 床版14 床版15 床版16 床版17 床版18	床版01 床版02 床版03 床版04 床版05 床版06 床版07 床版08 床版09 床版10 床版11 床版12 床版13 床版14 床版15 床版16 床版17 床版18

下部工		下部工	下部工
橋台01 橋台02 橋台03 橋台04 橋台05 橋台06 橋台07 橋台08 橋台09 橋台10 橋台11 橋台12 橋台13 橋台14 橋台15 橋台16 橋台17 橋台18	橋台01 橋台02 橋台03 橋台04 橋台05 橋台06 橋台07 橋台08 橋台09 橋台10 橋台11 橋台12 橋台13 橋台14 橋台15 橋台16 橋台17 橋台18	橋台01 橋台02 橋台03 橋台04 橋台05 橋台06 橋台07 橋台08 橋台09 橋台10 橋台11 橋台12 橋台13 橋台14 橋台15 橋台16 橋台17 橋台18	橋台01 橋台02 橋台03 橋台04 橋台05 橋台06 橋台07 橋台08 橋台09 橋台10 橋台11 橋台12 橋台13 橋台14 橋台15 橋台16 橋台17 橋台18

支保部		支保部	支保部
支保01 支保02 支保03 支保04 支保05 支保06 支保07 支保08 支保09 支保10 支保11 支保12 支保13 支保14 支保15 支保16 支保17 支保18	支保01 支保02 支保03 支保04 支保05 支保06 支保07 支保08 支保09 支保10 支保11 支保12 支保13 支保14 支保15 支保16 支保17 支保18	支保01 支保02 支保03 支保04 支保05 支保06 支保07 支保08 支保09 支保10 支保11 支保12 支保13 支保14 支保15 支保16 支保17 支保18	支保01 支保02 支保03 支保04 支保05 支保06 支保07 支保08 支保09 支保10 支保11 支保12 支保13 支保14 支保15 支保16 支保17 支保18

防護柵・地覆・伸縮装置・緑石・舗装・排水ます・排水管		防護柵・地覆・伸縮装置・緑石・舗装・排水ます・排水管	防護柵・地覆・伸縮装置・緑石・舗装・排水ます・排水管
防護柵01 防護柵02 防護柵03 防護柵04 防護柵05 防護柵06 防護柵07 防護柵08 防護柵09 防護柵10 防護柵11 防護柵12 防護柵13 防護柵14 防護柵15 防護柵16 防護柵17 防護柵18	防護柵01 防護柵02 防護柵03 防護柵04 防護柵05 防護柵06 防護柵07 防護柵08 防護柵09 防護柵10 防護柵11 防護柵12 防護柵13 防護柵14 防護柵15 防護柵16 防護柵17 防護柵18	防護柵01 防護柵02 防護柵03 防護柵04 防護柵05 防護柵06 防護柵07 防護柵08 防護柵09 防護柵10 防護柵11 防護柵12 防護柵13 防護柵14 防護柵15 防護柵16 防護柵17 防護柵18	防護柵01 防護柵02 防護柵03 防護柵04 防護柵05 防護柵06 防護柵07 防護柵08 防護柵09 防護柵10 防護柵11 防護柵12 防護柵13 防護柵14 防護柵15 防護柵16 防護柵17 防護柵18

19. 中川原橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名		路線名		所在地		起点側		緯度		35° 25′ 28.00″		橋梁ID					
								経度		139° 56′ 54.00″		35.42444,139.94833					
中川原橋 (フリガナ)ナカガワラバシ		坂戸市場9号線		袖ヶ浦市神納1549-2地先													
管理者名		定期点検実施年月日		路下条件		代替路の有無		自専道or一般道		緊急輸送道路		占用物件(名称)					
袖ヶ浦市		2021.11.5		浮戸川		有		一般道				有(不明)					
部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)																	
定期点検時に記録																	
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)		変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)		備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)		応急措置後の 判定区分		応急措置内容		応急措置及び 判定実施年月日					
上部構造		主桁															
		横桁															
		床版															
下部構造		Ⅰ															
支承部		Ⅰ															
その他		Ⅰ															
道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)																	
定期点検時に記録																	
(判定区分)		(所見等)															
Ⅰ		道路橋の機能に支障が生じていない状態である。															
全景写真(起点側、終点側を記載すること)																	
架設年次		橋長		橋幅													
1991年		35m		7.00m													
橋梁形式																	
PC単純プレテンT桁橋、逆T式橋台2基、張出式橋脚1基																	
				全景								終点側				正面	
								起点側								起点側より	

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

【判定区分：】	
【判定区分：】	

付図-1 部材番号図		径間番号	1
橋梁名	ツカガサ 中川原橋	路線名	坂戸市場9号線
		所在地	袖ヶ浦市神納1549-2地先

主桁・横桁		支承部
		防護柵・地覆・伸縮装置・鋪装・排水ます・排水管
床版		
下部工		

部 材 番 号 図

付図-1 部材番号図		径間番号	2
橋梁名	ツカガサ 中川原橋	路線名	坂戸市場9号線
		所在地	袖ヶ浦市神納1549-2地先

主桁・横桁		支承部
		防護柵・地覆・伸縮装置・鋪装・排水ます・排水管
床版	下部工	

部材番号図

20. 浮戸橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 25′ 10.00″	橋梁ID
浮戸橋 (フリガナ)ウキトバシ	坂戸石塚線	袖ヶ浦市神納2-25-17地先		経度	139° 57′ 38.00″	35.41944,139.96056
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ヶ浦市	2021.10.22	浮戸川	有	一般道		有(不明)

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)						
定期点検時に記録			定期点検者			
定期点検時に記録			応急措置後に記録			
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	Ⅰ	主桁				
		横桁				
		床版				
下部構造	Ⅰ					
支承部	Ⅰ					
その他	Ⅱ	脱落、路面の凹凸	写真1、2 防護柵02,舗装01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)	
定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅰ	防護柵に取付ボルトのゆるみ、ナットの脱落、舗装に段差が見られるが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)			
架設年次	橋長	幅員	
1990年	24m	7.00m	
橋梁形式			
鋼単純H型鋼橋、逆T式橋台2基			

正面



終点側



全景

起点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

【判定区分：Ⅱ】		【判定区分：Ⅱ】	
その他(防護柵)		その他(舗装)	
写真1	防護柵 Gf02 ゆるみ・脱落 【判定区分： Ⅱ 】 	写真2	舗装 Pm01 路面の凹凸 【判定区分： Ⅱ 】 

付図-1 部材番号図		径間番号	1
橋梁名 カネハシ 浮戸橋	路線名 坂戸石塚線	所在地 袖ヶ浦市神納2-25-17地先	

主桁・横桁		支承部	
床版		防護柵・地覆・伸縮装置・舗装・排水ます・排水管	
下部工			

部材番号図

21. 永地新溝橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名		路線名	所在地	起点側	緯度	35° 24′ 10.00″	橋梁ID
永地新溝橋 (フリガナ)エイチシンミンゾバシ		岩井3号線	袖ヶ浦市永地85地先		経度	140° 01′ 52.00″	35.40278,140.03111
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
袖ヶ浦市	2021.11.1	松川	有	一般道		有(不明)	
部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)							
定期点検時に記録							
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	落書き	写真1 主桁02			
	横桁	Ⅱ	落書き	写真1 横桁01			
	床版	Ⅱ	落書き	写真1 床版02			
下部構造		Ⅱ	剥離	写真2 胸壁01			
支承部		Ⅱ	欠損	写真3 沓座モルタル203			
その他		Ⅱ	欠損	写真4 伸縮装置02			
道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)							
定期点検時に記録							
(判定区分)		(所見等)					
Ⅱ		主桁、横桁、床版に落書き、胸壁に剥離、沓座モルタルに欠損、伸縮装置に地覆シール材及び後打ち材の欠損が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である。					
全景写真(起点側、終点側を記載すること)							
架設年次	橋長	幅員					
1988年	32m	6.00m					
橋梁形式							
鋼単純H型鋼橋、その他(橋台)2基、壁式橋脚1基							
			全景		終点側		
							
			起点側		起点側より		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

上部構造(主桁)【判定区分：Ⅱ】		下部構造(胸壁)【判定区分：Ⅱ】	
写真1	主桁 Mg02 横桁 Cr01 床版 Ds02(1径間) その他(落書き) 支承部(沓座モルタル)【判定区分：Ⅱ】 	写真2	胸壁 Ap01(1径間) 剥離・鉄筋露出 その他(伸縮装置)【判定区分：Ⅱ】 
写真3	沓座モルタル Bm203(2径間) 変形・欠損 	写真4	伸縮装置 Ej02(1径間) 漏水・滞水・変形・欠損 

付図-1 部材番号図		径間番号	1
橋梁名 エイトマン橋 永地新溝橋	路線名 岩井3号線	所在地 袖ヶ浦市永地85地先	

主桁・横桁		支承部
床版		防護柵・地覆・伸縮装置・舗装・排水ます・排水管
下部工		

部材番号図

付図-1 部材番号図		径間番号	2
橋梁名 エイトマン橋 永地新溝橋	路線名 岩井3号線	所在地 袖ヶ浦市永地85地先	

主桁・横桁		支承部
床版		防護柵・地覆・伸縮装置・鋪装・排水ます・排水管
下部工		

部材番号図

22. 上泉三反目橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 23′ 53.00″	橋梁ID
			経度	140° 02′ 01.00″	35.39806,140.03361	
上泉三反目橋 (フリガナ)カミイズミタメバンシ	上泉19号線	袖ヶ浦市上泉361				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ヶ浦市	2021.10.22	平岡大排水路	有	一般道		無

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検時に記録		応急措置後に記録				
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	Ⅱ	主桁	写真1 主桁10			
		横桁				
		床版				
下部構造	Ⅰ					
支承部	Ⅰ					
その他	Ⅲ	鉄筋露出	写真3 地覆01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	主桁に鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
不明	5m	3.55m
橋梁形式		
RC単純π桁橋、その他(橋台)2基		

全景

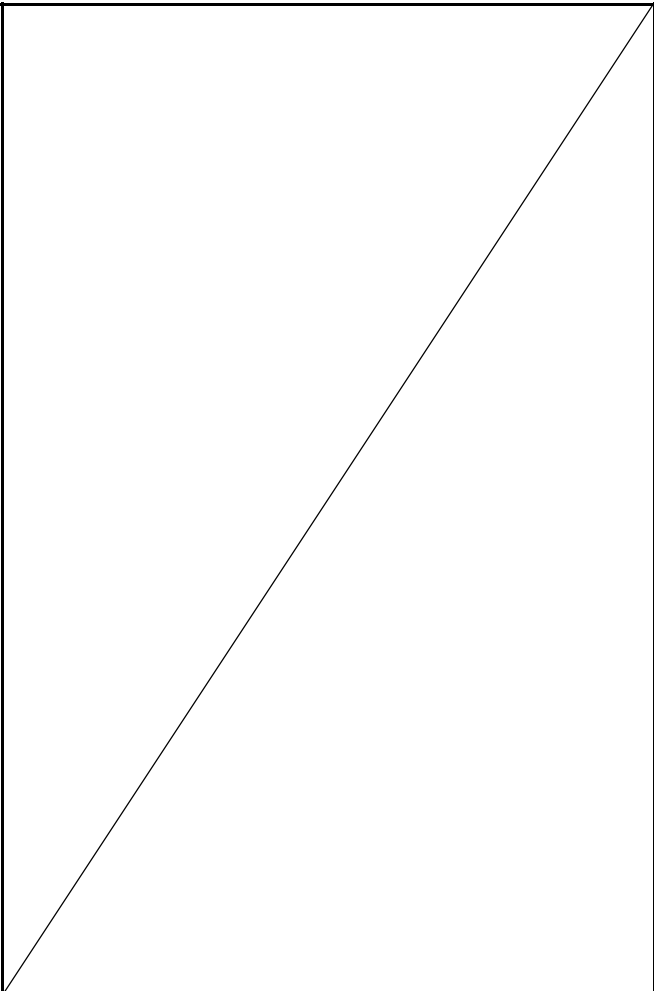
終点側

起点側

正面

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

上部構造(主桁)【判定区分：Ⅱ】		その他(防護柵)【判定区分：Ⅱ】	
写真1		写真2	
主桁 Mg10 剥離・鉄筋露出		防護柵 Gf02 ゆるみ・脱落	
その他(地覆)【判定区分：Ⅲ】		【判定区分：Ⅲ】	
写真3			
地覆 Fg01 剥離・鉄筋露出			

23. 野里西中溝橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	35° 23' 37.00" 140° 02' 28.00"	橋梁ID
野里西中溝橋 (フリガナ)ノザトニシナカミゾバシ	野里10号線	袖ヶ浦市野里570-8地先				35.39361,140.04111
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ヶ浦市	2021.10.25	平岡大排水路	有	一般道		無

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検時に記録						
応急措置後に記録						
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	Ⅱ	主桁	写真1 主桁01			
		横桁				
		床版				
下部構造	Ⅰ					
支承部	Ⅰ					
その他	Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	主桁に鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	不明	橋長	4m	幅員	2.70m
	橋梁形式				
	RC単純床版橋、その他(橋台)2基				

全景



起点側

終点側

正面



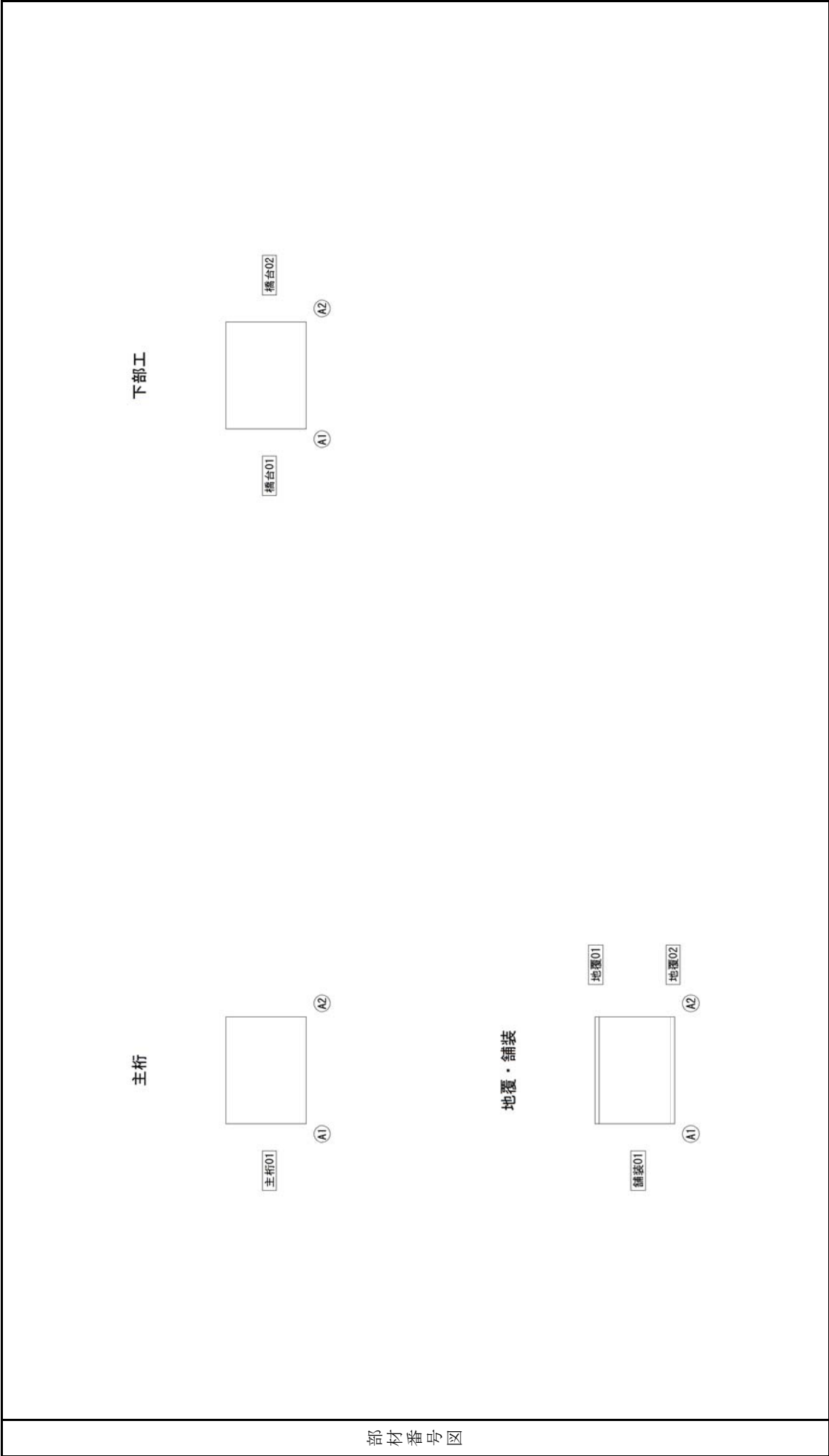
起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

写真1	上部構造(主桁)【判定区分：Ⅱ】 	【判定区分：】
	主桁 Mg01 剥離・鉄筋露出 【判定区分：】	【判定区分：】

付図-1 部材番号図	径間番号	1
------------	------	---

ブリガナ 橋梁名	ノサニシカミジハシ 野里西中溝橋	路線名	野里10号線	所在地	袖ヶ浦市野里570-8地先
-------------	---------------------	-----	--------	-----	---------------



24. 野里城ノ腰橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名		路線名	所在地	起点側		緯度	35° 23′ 31.00″	橋梁ID
野里城ノ腰橋 (フリガナ)ノザトシロノコシバシ		三箇2号線	袖ヶ浦市三箇2459地先			経度	140° 02′ 40.00″	35.39194,140.04444
管理者名		定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路		
袖ヶ浦市		2021.10.25	平岡大排水路	有	一般道	無		
						占用物件(名称)		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検時に記録		応急措置後に記録						
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日		
上部構造	主桁	うき	写真1 主桁07					
	横桁							
	床版							
下部構造	Ⅰ							
支承部	Ⅰ							
その他	Ⅱ	舗装の異常	写真2 舗装01					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅲ	主桁端部に著しい剥離、鉄筋露出、うきが見られる。道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	不明	橋長	4m	幅員	3.60m
	橋梁形式				
	RC単純π桁橋、その他(橋台)2基				

全景



起点側

終点側

正面



起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(主桁)【判定区分：Ⅲ】		その他(舗装)【判定区分：Ⅱ】	
写真1		写真2	
主桁 Mg07 ひびわれ、剥離・鉄筋露出、うき		舗装 Pm01 舗装の異常	
【判定区分：Ⅲ】		【判定区分：Ⅱ】	

付図-1 部材番号図		径間番号	1
橋梁名	野里城ノ腰橋	路線名	三箇2号線
所在地		袖ヶ浦市三箇2459地先	

主桁・横桁

主桁01

主桁03

主桁05

主桁07

主桁09

主桁02

主桁04

主桁06

主桁08

主桁10

A1

A2

横桁01

横桁02

床版

床版01

床版03

床版05

床版07

床版09

床版02

床版04

床版06

床版08

A1

A2

下部工

橋台01

橋台02

A1

A2

防護柵・地覆・舗装

防護柵01

地覆01

舗装01

地覆02

A1

A2

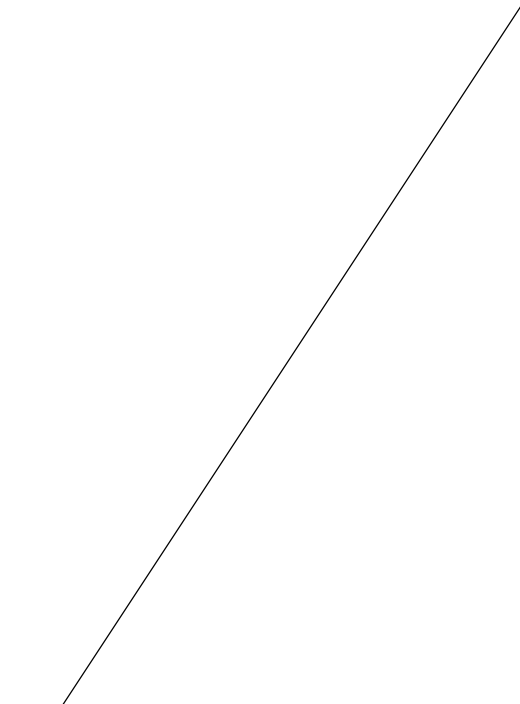
部材番号図

25. 石川橋

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	経度	橋梁ID
石川橋 (フリガナ)イシカワバシ	上泉17号線	袖ヶ浦市上泉918地先		35° 24' 27.00"	140° 02' 50.00"	35.4075,140.04722
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ヶ浦市	2021.10.25	松川	有	一般道		有(不明)
部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)						
定期点検時に記録			定期点検者			
定期点検時に記録			開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一朗			
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁					
	横桁					
	床版					
下部構造	Ⅱ	洗掘	写真1 縦壁01			
支承部	Ⅰ					
その他	Ⅱ	沈下、洗掘	写真2、3 取付擁壁			
道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)						
定期点検時に記録						
(判定区分) (所見等)						
Ⅱ	縦壁、取付擁壁に洗掘、縦壁と取付擁壁との間に沈下が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である。					
全景写真(起点側、終点側を記載すること)						
架設年次	橋長	幅員				
1953年	6m	4.45m				
橋梁形式						
RC単純T桁橋、その他(橋台)2基						
全景			正面			
						
起点側			終点側			
起点側			起点側より			

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
 ○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
 ○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

下部構造(堅壁)【判定区分：Ⅱ】		その他(取付擁壁)【判定区分：Ⅱ】	
写真1	 堅壁 Ac01 洗掘	写真2	 取付擁壁(A1橋台側) 洗掘
写真3	 その他(取付擁壁)【判定区分：Ⅱ】	 取付擁壁(A1橋台側) 洗掘	

取付擁壁(A1橋台側) 沈下・移動・傾斜

付図-1 部材番号図		径 間 番 号	1
ブリガナ 橋 梁 名	イシカハシ 石川橋	路 線 名	上泉17号線
		所在地	袖ヶ浦市上泉918地先
主桁・横桁 床版 支 承 下部工 防護柵・地覆・伸縮装置・舗装・排水ます・排水管			
部 材 番 号 図			

26. 新川橋（松川）

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名		路線名	所在地	起点側	緯度	35° 23′ 32.00″	橋梁ID
					経度	140° 00′ 29.00″	35.39222,140.00806
新川橋(松川) (フリガナ)シンカワバシ(マツカワ)		横田下望陀境線					
管理者名	定期点検実施年月日		路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ヶ浦市	2021.11.5		松川	有	一般道		無

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)							
定期点検時に記録							
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁	Ⅰ					
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅱ	その他(不法投棄)				
支承部		Ⅱ	欠損	写真1 堅壁01 写真2 沓座モルタル203			
その他		Ⅱ	欠損	写真3 排水管01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)							
定期点検時に記録							
(判定区分)		(所見等)					
Ⅱ		橋座面に不法投棄、沓座モルタルに欠損、排水管に孔食を伴う腐食が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である。					

全景写真(起点側、終点側を記載すること)			
架設年次	橋長	幅員	
1980年	39m	7.00m	
橋梁形式			
鋼単純鈹桁橋、その他(橋台)2基			

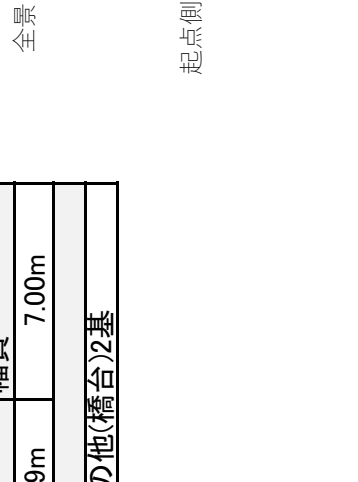
正面



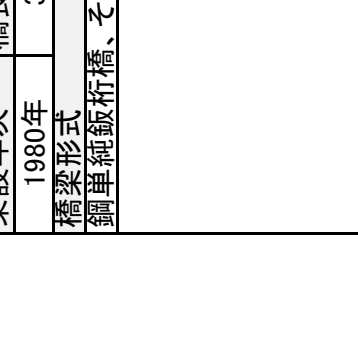
終点側



全景



起点側



起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

下部構造(縦壁)【判定区分：Ⅱ】	写真1		写真2	
縦壁 Ac01 その他(不法投棄) 【判定区分：Ⅱ】	その他(排水管)【判定区分：Ⅱ】	沓座モルタル Bm203 変形・欠損 【判定区分：Ⅱ】		
写真3		排水管 Dp01 腐食,防食機能の劣化,変形・欠損		

付図-1 部材番号図		径間番号	1
橋梁名 ツリガサ 新川橋 (松川)	路線名 シカバネ(ヤナリ)	横田下望陀境線	所在地 袖ヶ浦市横田4466地先
主桁・横桁・対傾構・下横構 主桁01 横桁01 主桁02 横桁02 主桁03 対傾構01 対傾構02 横桁02 対傾構02 対傾構03 床版01 床版02 床版03 床版04 伸縮装置01 伸縮装置02 地覆01 防護柵01 排水ます01 排水管01 主桁01 横桁01 主桁02 横桁02 主桁03 対傾構01 対傾構02 横桁02 対傾構02 対傾構03 床版01 床版02 床版03 床版04 伸縮装置01 伸縮装置02 地覆01 防護柵01 排水ます01 排水管01 排水ます02 排水管02 防護柵02 地覆02 主桁部 下部工			
部材番号図			

27. 小坪橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	経度	橋梁ID
小坪橋 (フリガナ)オツボバシ	横田吉野田線	袖ヶ浦市横田2508-18地先		35° 22′ 45.00″	140° 01′ 00.00″	35.37917,140.01667
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ヶ浦市	2021.11.5	小櫃川	有	一般道		有(不明)

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)						
定期点検時に記録				定期点検者		
定期点検時に記録				緊急措置後に記録		
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	緊急措置後の 判定区分	緊急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	Ⅰ	主桁				
		横桁				
		床版				
下部構造	Ⅱ	その他(不法投棄)	写真1 堅壁02			
支承部	Ⅱ	欠損	写真2 沓座モルタル102			
その他	Ⅱ	脱落、うき、欠損	写真3～6 防護柵02,地覆02,排水管01			
道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)						
定期点検時に記録						
(判定区分)		(所見等)				
Ⅱ		橋座面に不法投棄、沓座モルタルに欠損、地覆にうき、欠損、排水管に欠損を伴う腐食が見られる。予防保全の観点から講ずることが望ましい状態である。				
全景写真(起点側、終点側を記載すること)						
架設年次	橋長	幅員				
1972年	81m	4.00m				
橋梁形式						
鋼単純鉄桁橋、逆T式橋台2基、壁式橋脚2基						
			全景	終点側	正面	起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

下部構造(堅壁)【判定区分：Ⅱ】		支承部(沓座モルタル)【判定区分：Ⅱ】	
写真1	 堅壁 Ac02(3径間) その他(不法投棄) その他(防護柵)【判定区分：Ⅱ】	写真2	 沓座モルタル Bm102(1径間) 変形・欠損 その他(地覆)【判定区分：Ⅱ】
写真3	 防護柵 Gf02(1径間) ゆるみ・脱落	写真4	 地覆 Fg02(1径間) うき・変形・欠損

その他(地覆)【判定区分：Ⅱ】		その他(排水管)【判定区分：Ⅱ】	
写真5		写真6	
地覆 Fg02(1径間) うき,変形・欠損 【判定区分：Ⅱ】		排水管 Dp01(2径間) 腐食,防食機能の劣化,変形・欠損 【判定区分：Ⅱ】	

付図-1 部材番号図		径間 番号	2
フリガナ 橋 梁 名 オガハシ 小坪橋	路 線 名 横田吉野田線	所在地 袖ヶ浦市横田2508-18地先	
主桁・対傾構・下根構 床版 主桁01 横構01 主桁02 対傾構01 対傾構02 			

下部工

精脚02

排水ます01
排水管01
防護欄01
地覆01
地覆02
防護欄02
伸縮装置02

排水ます02
排水管02

付図-1 部材番号図		径間 番号		3	
フリガナ オガハシ 小坪橋		路 線 名		横田吉野田線	
		所 在 地		袖ヶ浦市横田2508-18地先	
部 材 番 号 図					
主桁・対傾構・下横構			床版		
主桁01 傾構01 主桁02 対傾構01 対傾構02 対傾構02 対傾構02 対傾構02 対傾構03			床版01 床版02 床版03		
支 承			下 部 工		
支承101 支承102 支承103 支承201 支承202 支承203			橋502		
防護柵・地覆・伸縮装置・舗装・排水ます・排水管					
舗装01 排水ます01 排水管01 地覆01 地覆02 防護柵02 伸縮装置02 排水ます02 排水管02					

28. 堂谷橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名		路線名		所在地		起点側		緯度		35° 22′ 50.00″		橋梁ID	
								経度		140° 01′ 42.00″		35.38056,140.02833	
堂谷橋 (フリガナ)ドウヤツバシ		堂谷1号線		袖ヶ浦市堂谷3地先									
管理者名		定期点検実施年月日		路下条件		代替路の有無		自専道or一般道		緊急輸送道路		占用物件(名称)	
袖ヶ浦市		2021.11.9		小櫃川		有		一般道				有(不明)	
部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)													
定期点検時に記録													
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)		変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)		備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)		応急措置後の 判定区分		応急措置内容		応急措置及び 判定実施年月日	
上部構造		Ⅰ		主桁		写真1 沓座モルタル202							
		Ⅰ		横桁		写真2～4 伸縮装置02,橋名板							
		Ⅰ		床版									
下部構造		Ⅰ											
支承部		Ⅱ		欠損									
その他		Ⅱ		脱落、漏水、土砂詰まり									
道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)													
定期点検時に記録													
(判定区分)		(所見等)											
Ⅱ		沓座モルタルに欠損、伸縮装置に漏水、土砂詰まりが見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である。											
全景写真(起点側、終点側を記載すること)													
架設年次		橋長		幅員									
1972年		81m		3.00m									
橋梁形式													
鋼単純鈹桁橋、逆T式橋台2基、壁式橋脚2基													
全景						終点側						正面	
													
起点側						終点側						起点側より	

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

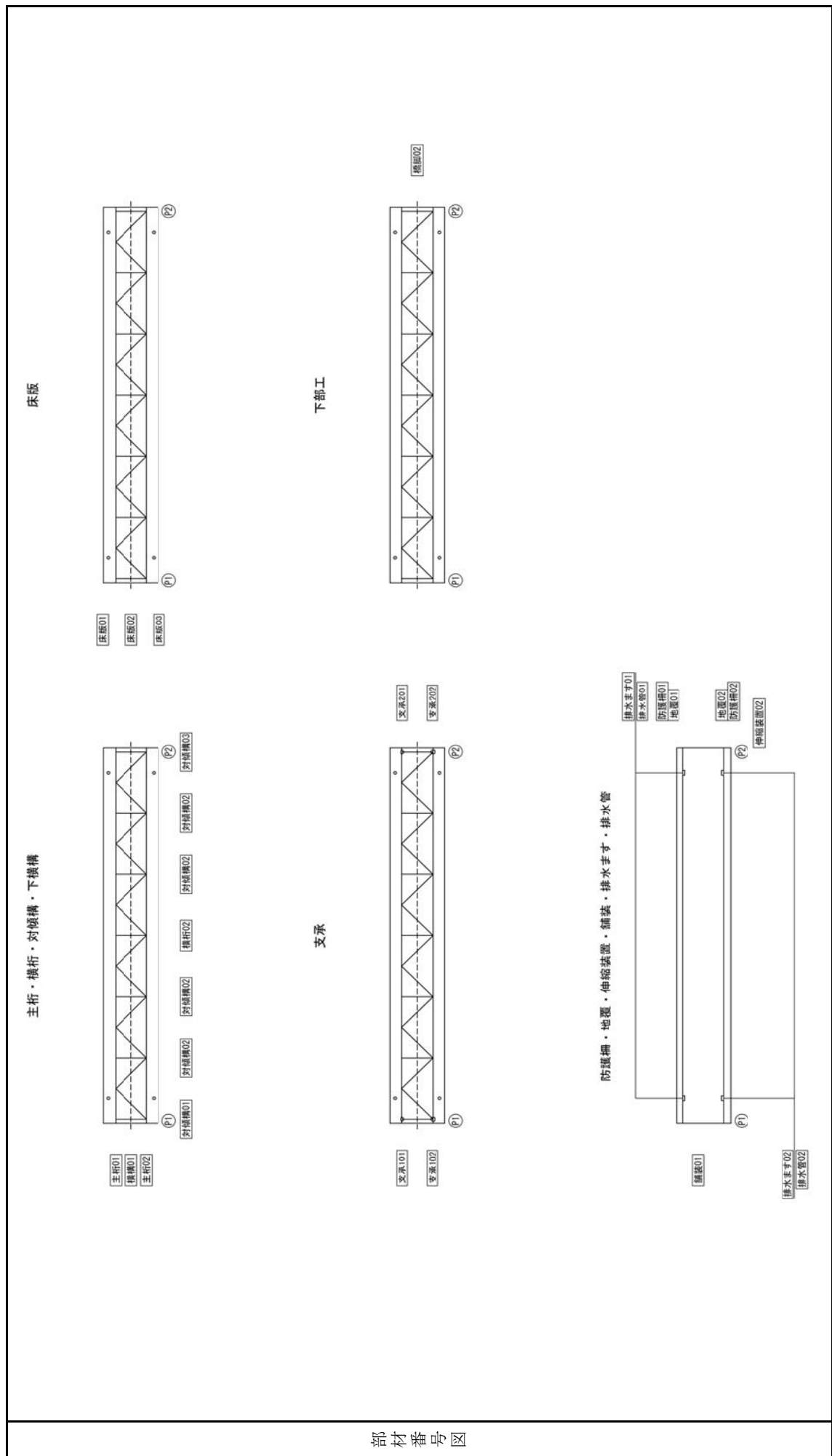
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

支承部(沓座モルタル)【判定区分：Ⅱ】		その他(伸縮装置)【判定区分：Ⅱ】	
写真1		写真2	
沓座モルタル Bm202(2径間) 変形・欠損		伸縮装置 Ej02(1径間) 漏水・滞水	
その他(伸縮装置)【判定区分：Ⅱ】		その他(橋名板)【判定区分：Ⅱ】	
写真3		写真4	
伸縮装置 Ej02(1径間) 土砂詰まり,漏水・滞水		橋名板(1径間) その他(橋名板の脱落)	

付図-1 部材番号図		径間番号	1
橋梁名 フカサ トウカサ 堂谷橋	路線名 堂谷1号線	所在地 袖ヶ浦市堂谷3地先	
主桁01 横構01 主桁02 主桁・横桁・対傾構・下横構 対傾構01 対傾構02 対傾構02 横桁02 対傾構02 対傾構03 床版01 床版02 床版03 主桁01 横構01 主桁02 主桁・横桁・対傾構・下横構 対傾構01 対傾構02 対傾構02 横桁02 対傾構02 対傾構03 床版01 床版02 床版03			
支承101 支承102 支承 支承101 支承102 橋脚01 橋脚02 支承101 支承102 支承 支承101 支承102 橋脚01 橋脚02			
舗装01 伸縮装置01 排水ます02 排水管02 防護柵・地覆・伸縮装置・舗装・排水ます・排水管 排水ます01 排水管01 防護柵01 地覆01 地覆02 防護柵02 伸縮装置02 排水ます01 排水管01 防護柵01 地覆01 地覆02 防護柵02 伸縮装置02			

--	--



3

主桁・横桁・対傾構・下横構

床版

支承

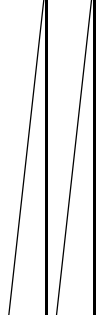
下部工

防護柵・地覆・伸縮装置・舗装・排水ます・排水管

部材番号図

29. 宮川橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名		路線名		所在地		起点側		緯度		35° 22′ 25.00″		橋梁ID	
								経度		140° 00′ 07.00″		35.37361,140.00194	
宮川橋 (フリガナ)ミヤカワバシ		下根岸百目木線		袖ヶ浦市百目木911地先									
管理者名		定期点検実施年月日		路下条件		代替路の有無		自専道or一般道		緊急輸送道路		占用物件(名称)	
袖ヶ浦市		2021.11.8		小櫃川		有		一般道				有(不明)	
部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)													
定期点検時に記録													
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)		変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)		備考(写真番号、位置等が分かるように記載)		応急措置後の判定区分		応急措置内容		応急措置及び判定実施年月日	
上部構造		Ⅰ		主桁									
		Ⅰ		横桁									
		Ⅱ		床版									
下部構造		Ⅰ											
支承部		Ⅱ		腐食		写真2 支承本体201							
その他		Ⅱ		脱落、舗装の異常、欠損		写真3～6 防護柵02、舗装01、排水管02、橋名板							
道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)													
定期点検時に記録													
(判定区分)		(所見等)											
Ⅱ		床版に格子状のひびわれ、支承に著しい腐食、排水管に孔食を伴う腐食が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である。											
全景写真(起点側、終点側を記載すること)													
架設年次		橋長		橋幅									
1972年		70m		4.00m									
橋梁形式													
鋼単純H型鋼橋、逆T式橋台2基、壁式橋脚2基													
全景												正面	
起点側												終点側	
												起点側より	

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
 ○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
 ○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(床版)【判定区分: Ⅱ】		支承部(支承本体)【判定区分: Ⅱ】	
写真1		写真2	
床版 Ds02(3径間) 床版ひびわれ		支承本体 Bh201(3径間) 腐食,防食機能の劣化	
その他(防護柵)【判定区分: Ⅱ】		その他(舗装)【判定区分: Ⅱ】	
写真3		写真4	
防護柵 Gf02(2径間) ゆるみ・脱落		舗装 Pm01(3径間) 舗装の異常	

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

【判定区分：Ⅱ】		【判定区分：Ⅱ】	
写真5	その他(排水管) 排水管 Dp02(2径間) 腐食,防食機能の劣化,変形・欠損 【判定区分：Ⅱ】	写真6	その他(橋名板) 橋名板(3径間) 腐食,防食機能の劣化,変形・欠損 【判定区分：Ⅱ】

付図-1 部材番号図		径 間 番 号	1
橋 梁 名	路 線 名	下 根 岸 百 目 木 線	所 在 地
フカサ 宮川橋	ミカサ 宮川橋	袖ヶ浦市百目木911地先	
主桁・横桁 床版 支 承 下部工 部 材 番 号 図			

付図-1 部材番号図		径間番号	2
橋梁名 フカサ ミカサ 宮川橋	路線名 下根岸百目木線	所在地 袖ヶ浦市百目木911地先	

主桁・横桁		床版
支承		下部工
防護柵・地覆・伸縮装置・舗装・排水ます・排水管		

部材番号図

付図-1 部材番号図		径間 番 号		3	
ブリカス 宮川橋		路 線 名		下根岸百目木線	
		所 在 地		袖ヶ浦市百目木911地先	
部 材 番 号 図					
主桁・横桁			床版		
主桁01 主桁02 横桁01 横桁02 横桁02 横桁02 横桁03 A2 P2			床版01 床版02 床版03 A2 P2		
支承			下部工		
支承01 支承02 支承201 支承202 A2 P2			橋台02 A2 P2		
防護柵・地覆・伸縮装置・舗装・排水ます・排水管					
舗装01 排水ます01 排水管01 防護柵01 地覆01 地覆02 防護柵02 伸縮装置02 A2 P2 排水ます02 排水管02					

30. 槍水橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名		路線名	所在地	起点側	緯度	35° 22′ 34.00″	橋梁ID
					経度	140° 00′ 56.00″	35.37611,140.01556
榎水橋 (フリガナ)ヤリミズハシ		吉野田4号線	袖ヶ浦市吉野田588-2地先				
管理者名	定期点検実施年月日	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)		
袖ヶ浦市	2021.11.8	有	一般道		有(NTT、水道管)		
部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)							
定期点検時に記録							
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日	
上部構造	主桁						
	横桁						
	床版						
下部構造	Ⅰ						
支承部	Ⅱ	土砂詰まり	写真1 支承本体201				
その他	Ⅱ	腐食	写真2 排水管01				
道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)							
定期点検時に記録							
(判定区分)	(所見等)						
Ⅱ	支承部に土砂堆積、排水管に孔食を伴う腐食が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である。						
全景写真(起点側、終点側を記載すること)							
架設年次	橋長	幅員					
1982年	16m	9.45m					
橋梁形式							
PC単純プレテンT桁橋、逆T式橋台2基							
全景			起点側			正面	
終点側			起点側より				

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

支承部(支承本体)【判定区分：Ⅱ】		その他(排水管)【判定区分：Ⅱ】	
写真1		写真2	
支承本体 Bh201 土砂詰まり 【判定区分：Ⅱ】		排水管 Dp01 腐食、防食機能の劣化、変形・欠損 【判定区分：Ⅱ】	

付図-1 部材番号図	径間番号	1
橋梁名 ツリガサ 檜水橋	路線名 吉野田4号線	所在地 袖ヶ浦市吉野田588-2地先
部材番号図 主桁・横桁 床版 支承 下部工 防護柵・地覆・伸縮装置・舗装・排水ます・排水管		